

瑞穂市学校施設等長寿命化計画

令和3年3月

瑞穂市教育委員会

目 次

第1章 学校施設等の長寿命化計画の背景・目的等	1
1. 背景	1
2. 目的	1
3. 計画期間	2
4. 計画の位置付け	2
5. 対象施設	3
(1) 対象施設一覧.....	3
(2) 対象施設の位置.....	4
第2章 学校施設等の目指すべき姿	5
1. 国の計画	5
(1) 第3期教育振興基本計画.....	5
2. 県の計画	6
(1) 岐阜県教育振興基本計画（第3次岐阜県教育ビジョン）	6
3. 市の計画	7
(1) 瑞穂市公共施設等総合管理計画.....	7
(2) 瑞穂市教育大綱.....	8
第3章 学校施設等の実態	9
1. 学校施設等の運営状況・活用状況等の実態.....	9
(1) 学校施設等を取り巻く状況.....	9
(2) 対象施設一覧.....	11
(3) 学校施設等の学区図.....	12
(4) 児童生徒数及び学級数.....	14
(5) 学校開放の状況.....	18
(6) 指定緊急避難場所及び指定避難所等.....	20
(7) 施設関連経費の推移.....	22
(8) 学校施設等の保有量.....	23
2. 学校施設等の老朽化状況の実態.....	28
(1) 構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価.....	28
(2) 鉄筋コンクリート造建物の中酸化深さの調査結果.....	32
(3) 今後の維持・更新コスト.....	34
(4) 学校施設等を取り巻く課題.....	37
第4章 学校施設等整備の基本的な方針等	38
1. 学校施設等の規模・配置計画等の方針.....	38
(1) 公共施設等総合管理計画の基本方針.....	38
(2) 学校施設等の長寿命化計画の基本方針.....	38

(3) 学校の適正規模に関する方針.....	39
2. 改修等の基本的な方針.....	40
(1) 長寿命化の方針.....	40
(2) 目標使用年数、改修周期の設定.....	40
第5章 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等.....	42
1. 改修等の整備水準.....	42
2. 維持管理の項目・手法等.....	43
(1) 現状	43
(2) 点検手法	43
第6章 長寿命化の実施計画	44
1. 改修等の優先順位付けと実施計画.....	44
(1) 改修等の優先順位付け.....	44
(2) 実施計画	45
第7章 長寿命化計画の継続的運用方針.....	46
1. 情報基盤の整備と活用.....	46
2. 推進体制等の整備.....	46
3. フォローアップ	46

第1章 学校施設等の長寿命化計画の背景・目的等

1. 背景

昨今、全国的に、公共施設等の老朽化が大きな問題となっており、瑞穂市（以下「本市」という。）においても、公共施設等の老朽化が著しく進行している中、今後さらなる人口減少、少子高齢化により、財源の減少や社会保障費の増加が見込まれ、公共施設の老朽化への対応は大きな課題となっています。

そこで、本市では、公共施設等全体の総合的かつ計画的な管理を推進するために、平成28年3月に「瑞穂市公共施設等総合管理計画」（以下「管理計画」という。）を策定しました。

また、平成25年11月に策定された「インフラ長寿命化基本計画」において、公共施設等総合管理計画を上位計画とする個別施設毎の長寿命化計画（個別施設計画）を策定することが求められています。学校施設に関しては、個別施設計画の策定にあたり、文部科学省より、平成27年4月に「学校施設の長寿命化計画策定に係る手引」が、平成29年3月に「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」が公表されました。

このような背景のもと、「瑞穂市学校施設等長寿命化計画（以下「本計画」という。）」は、本市の保有する幼稚園、小学校及び中学校（以下「学校施設等」という。）について、上位計画である管理計画の方針に基づき、長寿命化計画（個別施設計画）を策定します。

2. 目的

平成28年3月に策定された管理計画における施設類型毎の管理に関する基本方針に基づき、学校施設等について実施した劣化調査によって確認された諸問題を整理した上で、中長期的な維持管理費用と併せて学校施設等の再配置を検討しながらトータルコストの縮減及び予算の平準化を図りつつ、学校施設等に求められる機能・性能を確保することを目的とします。

3. 計画期間

本計画の計画期間は、令和3(2021)年度から令和42(2060)年度までの40年間とします。また本計画については、実施計画として5年毎に見直します。ただし、社会情勢や教育環境の変化により計画の見直しが必要となった場合には、計画期間内であっても適宜見直すものとします。

4. 計画の位置付け

本計画は、本市の保有する学校施設等の今後のあり方について具体的な方針を示すもので、管理計画の下位計画として位置付けられています。

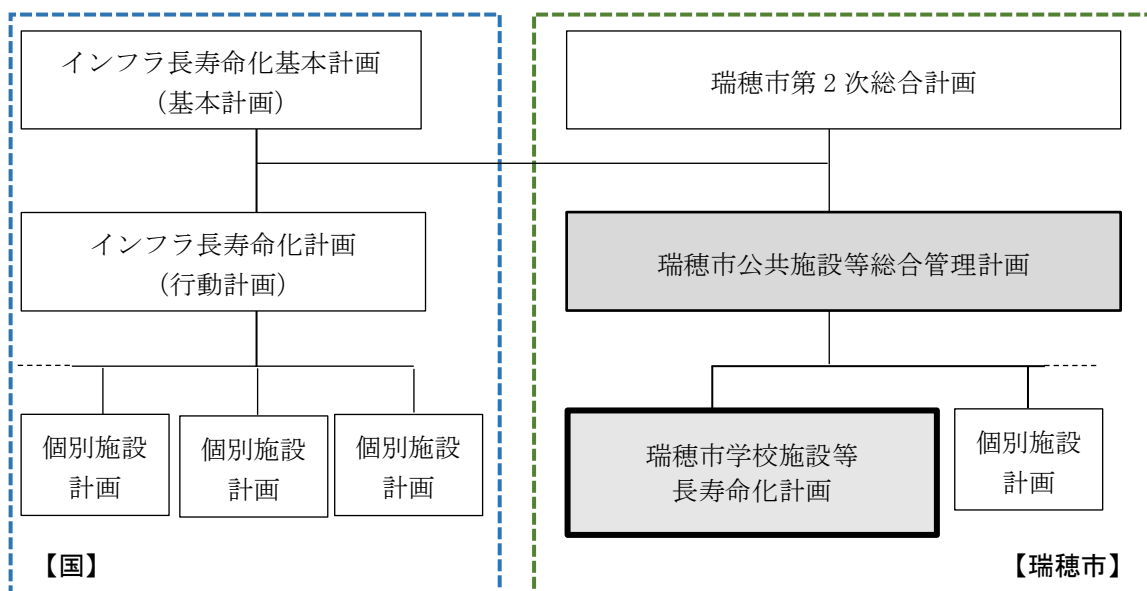


図 1.1 計画の位置付け

5. 対象施設

(1) 対象施設一覧

本計画の対象とする学校施設等は以下に示す 11 施設（幼稚園：1 園、小学校：7 校、中学校：3 校）となります。

本市が保有する学校施設等のうち、200 m²以上の建物を対象施設として位置づけます。ただし、200 m²未満であっても、昇降口や増築した棟等で校舎に付属する建物については計画対象とします。

表 1.1 対象施設一覧

分類	No.	名称	所在地
幼稚園	1	ほづみ幼稚園	岐阜県瑞穂市只越 500
小学校	2	穂積小学校	岐阜県瑞穂市穂積 452
	3	本田小学校	岐阜県瑞穂市本田 938
	4	生津小学校	岐阜県瑞穂市馬場上光町 2 丁目 108
	5	西小学校	岐阜県瑞穂市居倉 389
	6	南小学校	岐阜県瑞穂市古橋 1660
	7	牛牧小学校	岐阜県瑞穂市牛牧 1523
	8	中小学校	岐阜県瑞穂市美江寺 173
中学校	9	穂積中学校	岐阜県瑞穂市別府 1888
	10	穂積北中学校	岐阜県瑞穂市本田 2000
	11	巢南中学校	岐阜県瑞穂市古橋 10-1

(2) 対象施設の位置

本計画で対象とする学校施設等の位置を以下に示します。

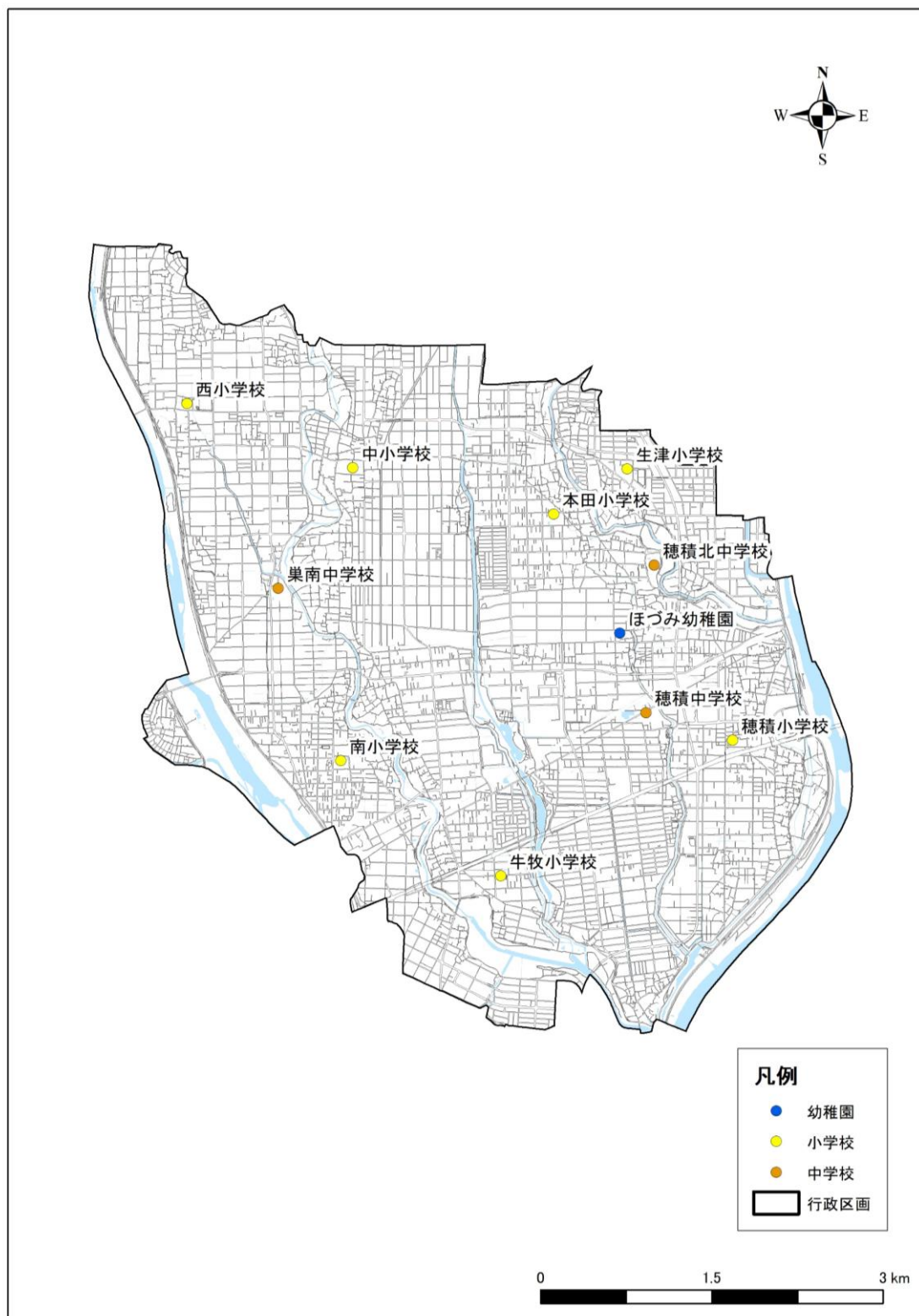


図 1.2 学校施設等の位置

第2章 学校施設等の目指すべき姿

本市における学校施設等の目指すべき姿として、学校施設等を取り巻く状況を、国・県・市ごとに整理します。

1. 国の計画

第3期教育振興基本計画（平成30年6月）では、教育政策に関する基本的な方針のひとつとして「教育政策推進のための基盤を整備する」が示され、教育環境の質的向上を図りつつ、長寿命化改修を中心とした計画的な老朽化対策を進めることが示されています。

(1) 第3期教育振興基本計画（平成30(2018)年度～平成34(2022)年度）

Ⅲ. 2030年以降の社会を展望した教育政策の重点事項
《個人と社会の目指すべき姿》 (個人) 自立した人間として、主体的に判断し、多様な人々と協働しながら新たな価値を創造する人材の育成 (社会) 一人一人が活躍し、豊かで安心して暮らせる社会の実現、社会（地域・国・世界）の持続的な成長・発展 《教育政策の重点事項》 ○「超スマート社会（Society5.0）」の実現に向けた技術革新が進展するなか「人生100年時代」を豊かに生きていくためには、「人づくり革命」、「生産性革命」の一環として、若年期の教育、生涯にわたる学習や能力向上が必要 ○教育を通じて生涯にわたる一人一人の「可能性」と「チャンス」を最大化することを今後の教育政策の中心に据えて取り組む
Ⅳ. 今後の教育政策に関する基本的な方針
1. 夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する 2. 社会の持続的な発展を牽引するための多様な力を育成する 3. 生涯学び、活躍できる環境を整える 4. 誰もが社会の担い手となるための学びのセーフティネットを構築する 5. <u>教育政策推進のための基盤を整備する</u>
【今後5年間の教育政策の目標（抜粋）】 目標（16）新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導体制の整備等 目標（17）ICT利活用のための基盤の整備 ・学校のICT環境整備の促進に取り組む。 目標（18）安全・安心で質の高い教育研究環境の整備 ・ <u>教育内容・方法等の変化や多様化への対応などの教育環境の質的向上を図りつつ、早期に耐震化を完了し、長寿命化改修を中心とした計画的な老朽化対策を進める。</u> 目標（19）児童生徒等の安全の確保 目標（20）教育研究の基盤強化に向けた高等教育のシステム改革 目標（21）日本型教育の海外展開と我が国の教育の国際化

※なお、平成34年は令和4年にあたる。

2. 県の計画

岐阜県教育振興基本計画（平成 31 年 3 月）では、基本方針のひとつに「学びを支援する安全・安心な教育環境づくり」があげられ、取り組むべき主な施策のひとつとして非構造部材の耐震化の促進や、ICT の環境整備と利活用の推進が示されています。

(1) 岐阜県教育振興基本計画（第 3 次岐阜県教育ビジョン）（平成 31(2019)年度～令和 5(2023)年度）

基本方針
<ol style="list-style-type: none">1 ぎふへの愛着をもち、世界に視野を広げ活躍する人材の育成2 多様な学びを支援する教育体制の充実3 未来を切り拓くための基礎となる力をはぐくむ教育の推進4 勤務環境の改革と教職員の資質向上5 <u>学びを支援する安全・安心な教育環境づくり</u>
【取り組むべき主な施策（抜粋）】
目標（25）学校施設の整備の充実
<ol style="list-style-type: none">① 県立学校施設の改修の推進② <u>市町村立小・中学校等施設の非構造部材の耐震化の促進</u>③ エアコン等設置による教育環境の整備④ 環境衛生検査の適切な実施と学校環境衛生基準に基づいた環境整備
目標（26）ICTの環境整備と利活用の推進
<ol style="list-style-type: none">① <u>ICTの環境整備と利活用の推進</u>② ICTを活用した研修環境の整備③ 長時間勤務・多忙化解消に向けた統合型校務支援システムの構築・普及・運営の推進

3. 市の計画

瑞穂市公共施設等総合管理計画（平成 28 年 3 月）では、公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本理念を次のように定め、「市民参加・協議のまちづくり」に向けて、市民と行政の協議により、最適な公共施設等の持続的な供給を目指します。

- ①質と量の最適化
- ②公共施設マネジメントの推進
- ③市民との問題意識の共有化

瑞穂市教育大綱（令和 3 年 1 月）では、地域のつながりの希薄化、価値観、ライフスタイルの多様化など、教育を取り巻く社会状況が日々変化しているなか、思いやりや助け合いの心、さらには自律の心などの豊かな心をもち、みずほを愛し、みずほを誇り、みずほの活力となる人づくりを目指すことが掲げられています

（1）瑞穂市公共施設等総合管理計画（平成 27(2015)年度～平成 66(2054)年度）

公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本理念
基本理念 1 質と量の最適化 供給（最適な施設量）・品質（安全・安心・快適性の確保）・財務（長期にわたり経済的なコスト）3つの視点から、質と量の最適化に取り組むことで、良質なサービス提供を目指します。
基本理念 2 公共施設マネジメントの推進 公共施設等の全体像を把握し、全ての市民が安全・安心に暮らせるまちづくりの観点から、公共施設等の総合的なマネジメントに取り組みます。
基本理念 3 市民と問題意識の共有化 公共施設等は大切な資産と捉え、市民と問題意識を共有するとともに、協働して、公共施設等の将来の方向性の確立に向けて取り組みます。

※なお、平成 66 年は令和 36 年にあたる。

(2) 瑞穂市教育大綱（令和3年1月）

基本理念：教育立市みずほ

SDGs の「誰一人取り残さない」という理念のもと、グローバル社会で活躍するために、自ら学び、考え、行動し、新たなことに挑戦していく力を身につける教育を推進します。

生涯にわたり学び、主体的に地域や社会と関わり、他者を思いやり貢献できる地域社会人を育成します。

○ **基本方針1 学びの芽生えを育む幼児教育の推進**

- ・個々の学びの中で、道徳性・規範意識の芽生えを醸成し、基本的な生活習慣の育成をします。
- ・遊びや生活の中で、豊かな言葉や表現力の向上を目指します。
- ・保育所、幼稚園と小学校との情報共有・連携強化を図ります。

○ **基本方針2 豊かな人間性を育む質の高い学校教育の推進**

- ・多様な学びを支え、確かな学力を育成します。
- ・豊かな人間関係を築くことのできる心の教育の充実を図ります。
- ・多様なニーズに対応したきめ細やかな教育を実施します。
- ・特色ある学校づくりを推進します。

○ **基本方針3 生涯にわたる学びを育む社会教育の推進**

- ・ふるさとみずほの良さを発見し、地域の歴史、文化、自然に誇りをもち、地域への愛着がもてる心を育成します。
- ・市民一人「一文化、一スポーツ、一奉仕」を実践し、心身ともに健やかで幸せな地域社会をつくります。
- ・市民協働による活力のある地域社会を実現し、地域社会の一員として貢献できる人づくりをします。

第3章 学校施設等の実態

1. 学校施設等の運営状況・活用状況等の実態

(1) 学校施設等を取り巻く状況

① 本市の人口ビジョン

令和2年3月に策定した「第2期瑞穂市まち・ひと・しごと総合戦略」における人口ビジョンでは、子育て支援の充実や若者世代の定住促進、地域産業の活性化等に寄与する様々な施策を展開することにより、2040年に58,000人程度の人口を維持することを目標に掲げています。

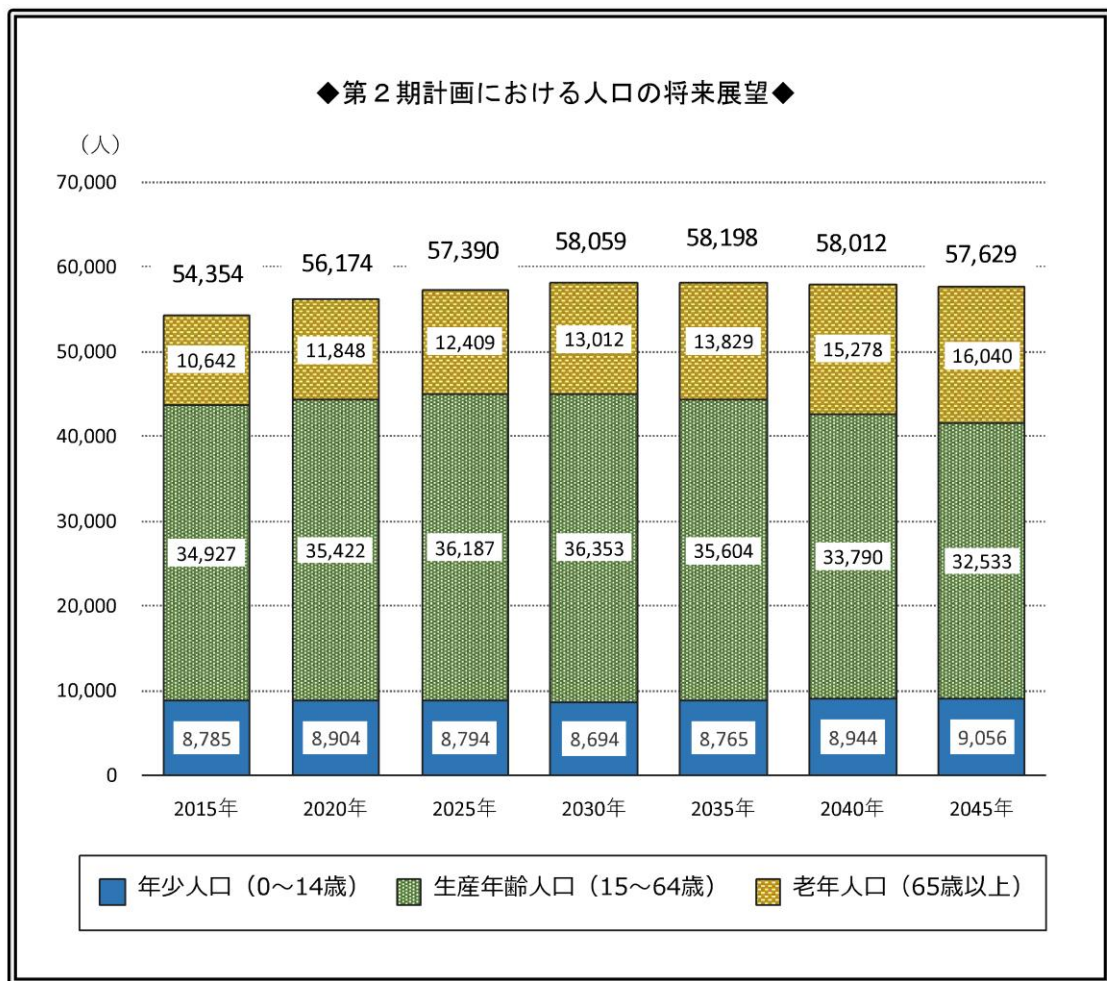


図 3.1 将来人口推移

(出典：第2期瑞穂市まち・ひと・しごと創生総合戦略)

② 財政

ア) 歳入

歳入は増加傾向にあります。平成 30 年度は、歳入では主に地方消費税交付金・寄付金・繰入金が増加し、決算額が増加しています。

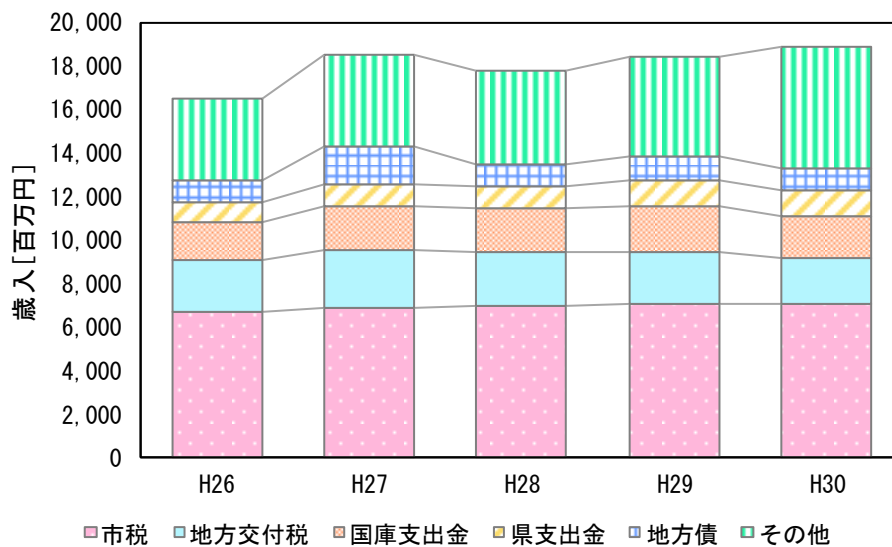


図 3.2 歳入

イ) 歳出

歳出は増加傾向にあります。平成 30 年度は、人件費、物件費、扶助費が増加したことにより、決算額が増加しています。

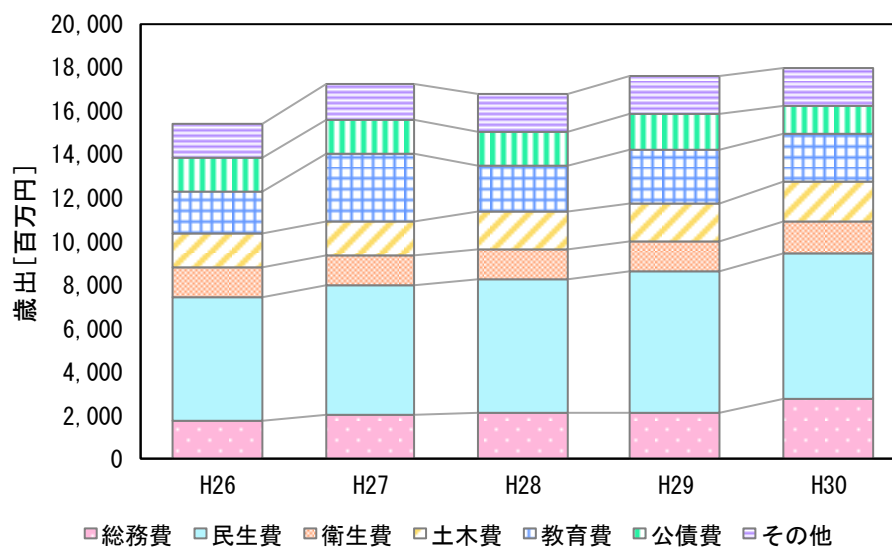


図 3.3 歳出

(出典：瑞穂市財政状況【平成 30 年度版】)

(2) 対象施設一覧

本市の保有する学校施設等は、幼稚園が1園、小学校が7校、中学校が3校で、総延床面積は約7.7万㎡となります。最も古い施設を保有する学校施設等は、ほづみ幼稚園と穂積小学校で、築年数が52年の施設を保有しています。また、穂積北中学校を除く全ての施設に旧耐震基準の施設が保有されており、旧耐震基準の施設については耐震診断、耐震補強が完了しています。

表 3.1 対象施設一覧

施設名		延床面積 (㎡)	代表建築年度 (年度)	築年数 (年)	耐震基準	耐震診断	耐震補強	
幼稚園	1	ほづみ幼稚園	2488	S43	52	旧	済	済
小学校	2	穂積小学校	8257	S43	52	旧	済	済
	3	本田小学校	4596	S45	50	旧	済	不要
	4	生津小学校	4847	S54	41	旧	済	不要
	5	西小学校	3362	S53	42	旧	済	不要
	6	南小学校	4338	S49	46	旧	済	不要
	7	牛牧小学校	7231	S44	51	旧	済	済
	8	中小学校	3467	S53	42	旧	済	済
中学校	9	穂積中学校	9695	S47	48	旧	済	不要
	10	穂積北中学校	7332	S59	36	新	未	不要
	11	巢南中学校	5643	S45	50	旧	済	済

(出典：瑞穂市小学校施設耐震改修状況調査、学校施設台帳)

(3) 学校施設等の学区図

本市の保有する学校施設等の学区図は以下の通りです。

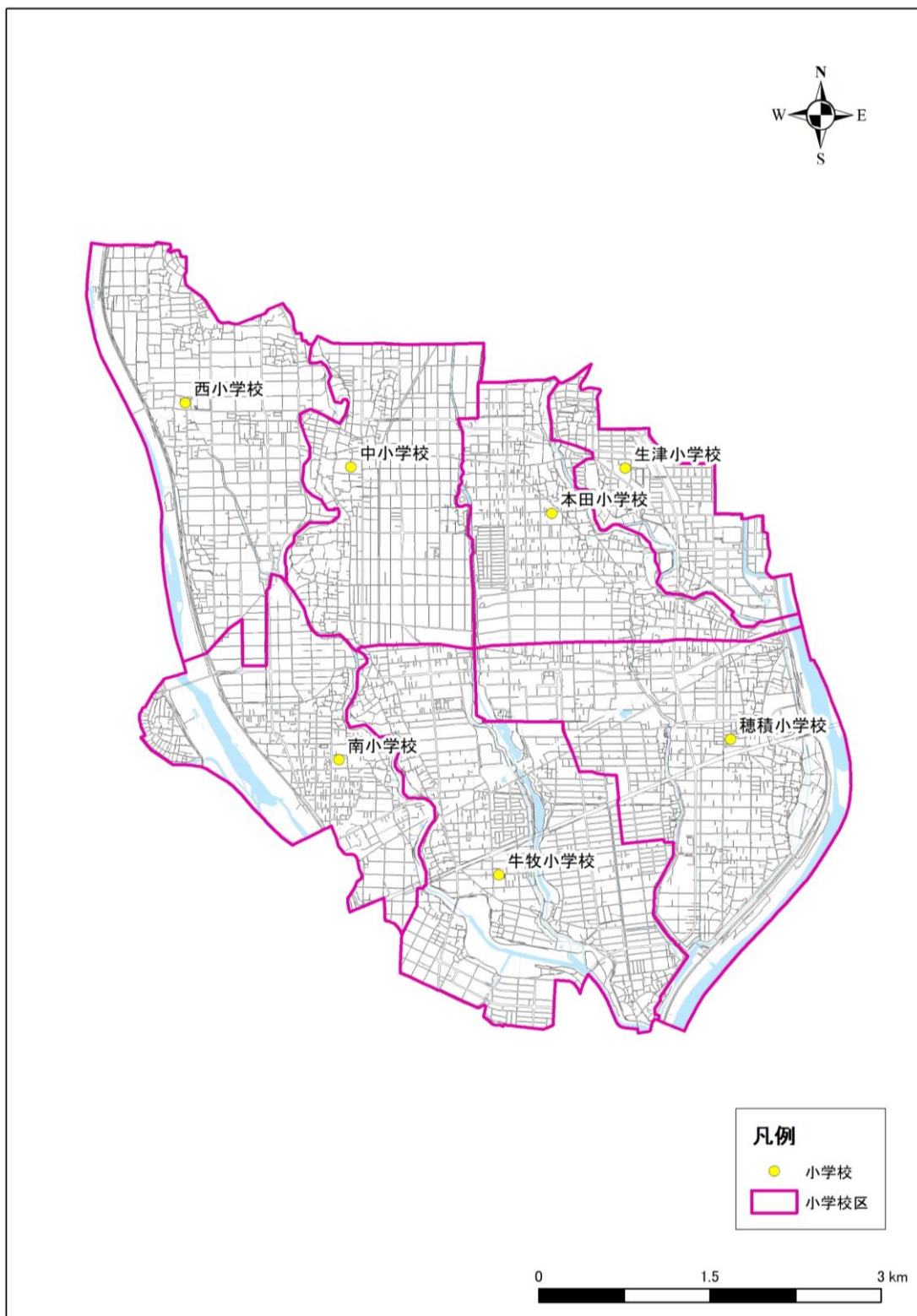


図 3.4 小学校区図

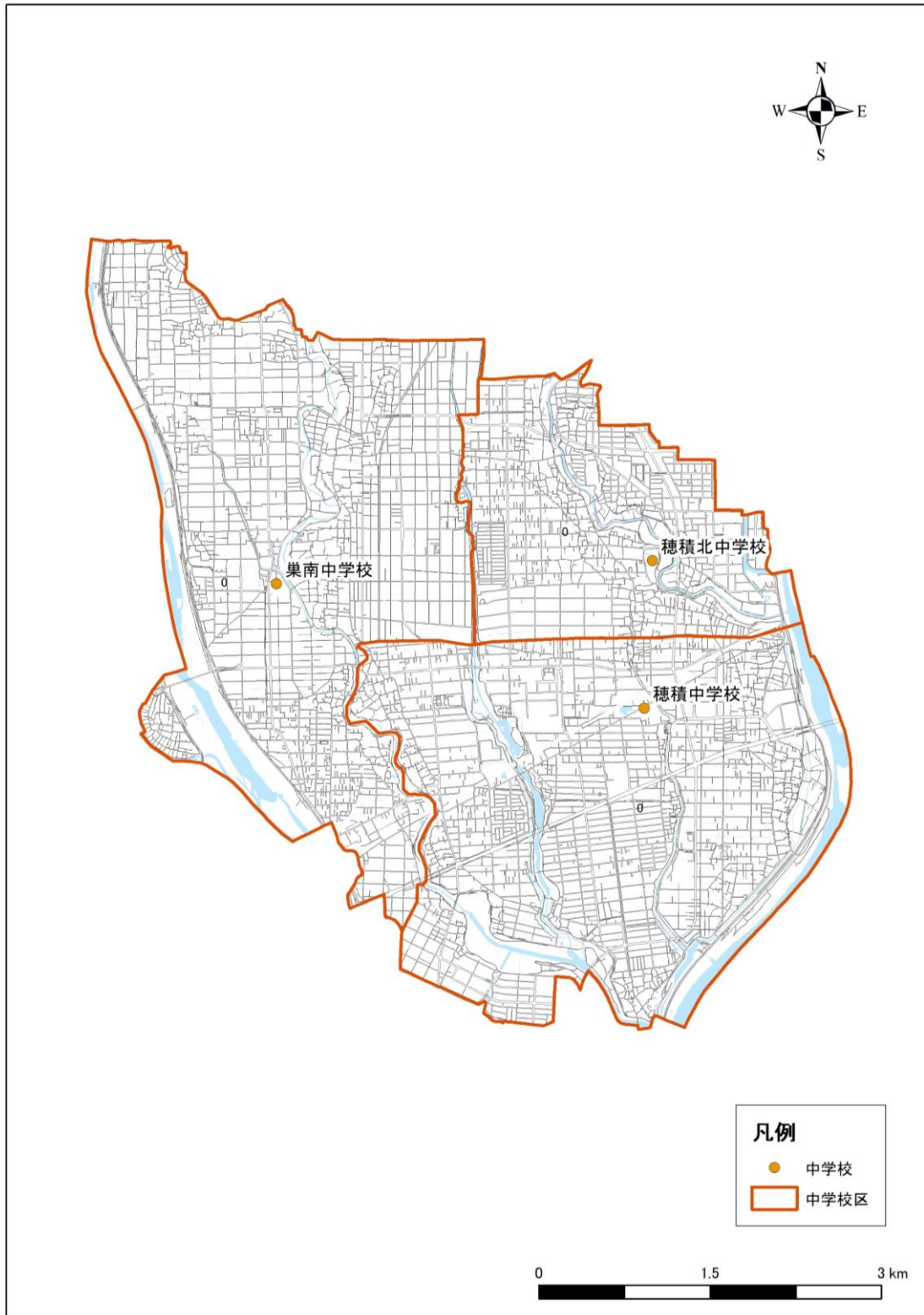


图 3.5 中学校区图

(4) 児童生徒数及び学級数

① 園児、児童、生徒数及び学級数

令和2年5月1日現在における幼稚園の園児数は238人、学級数は10学級となっています。小学校の児童数は3492人、学級数は132学級、中学校の生徒数は1694人、学級数は54学級となっています。

西小学校、中小学校では学級数が1の学年があります。

表 3.2 幼稚園の園児数

幼稚園名		項目	年少	年中	年長	特別支援学級	合計
1	ほづみ幼稚園	児童数	76	71	91	—	238
		学級数	4	3	3	—	10

表 3.3 小学校の児童数

小学校名		項目	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別支援学級	合計
2	穂積小学校	児童数	111	144	120	130	126	137	24	792
		学級数	4	5	4	4	4	4	4	29
3	本田小学校	児童数	94	69	103	81	76	82	16	521
		学級数	3	2	3	3	2	3	3	19
4	生津小学校	児童数	59	59	73	100	60	86	14	451
		学級数	2	2	3	3	2	3	3	18
5	西小学校	児童数	36	28	38	39	34	48	10	233
		学級数	2	1	2	1	1	2	2	11
6	南小学校	児童数	84	82	83	103	95	92	24	563
		学級数	3	3	3	3	3	3	4	22
7	牛牧小学校	児童数	114	131	127	125	113	137	16	763
		学級数	4	4	4	4	3	4	3	26
8	中小学校	児童数	23	24	30	28	33	26	5	169
		学級数	1	1	1	1	1	1	1	7
合計		児童数	521	537	574	606	537	608	109	3492
		学級数	19	18	20	19	16	20	20	132

表 3.4 中学校の生徒数

中学校名		項目	1年	2年	3年	特別支援学級	合計
9	穂積中学校	生徒数	238	248	270	13	769
		学級数	7	7	7	2	23
10	穂積北中学校	生徒数	141	138	139	12	430
		学級数	5	4	4	2	15
11	巢南中学校	生徒数	161	159	161	14	495
		学級数	5	4	5	2	16
合計		生徒数	540	545	570	39	1694
		学級数	17	15	16	6	54

(出典：令和2年度 公立学校施設台帳 瑞穂市)

1学年1学級の学校

② 本市の各校区の15歳未満人口推計

本市の令和2年3月末の住民基本台帳を用いて、平成27(2015)年度から令和47(2065)年度までの5年毎の各校区の15歳未満人口推計を算出しました。推計結果より、全校区において、将来にわたり15歳未満の人口は減少していることが分かります。

【推計方法】

- ・コーホート要因法にて推計を行った。
- ・瑞穂市住民基本台帳及び国立社会保障・人口問題研究所の瑞穂市の将来の生残率、純移動率、子ども女性比、0～4歳性比を用いた。

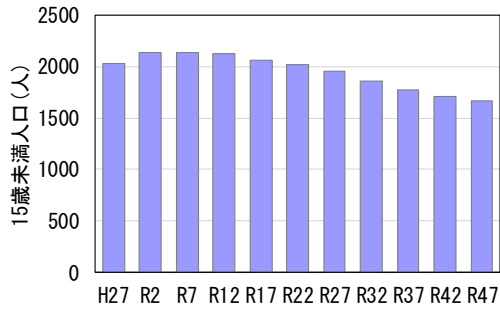
資料：社人研「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」

表 3.5 校区内訳

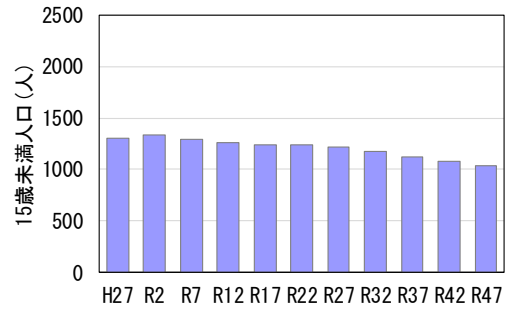
小学校	中学校
穂積	穂積
牛牧	
生津	穂積北
本田	
西	巣南
南	
中	

表 3.6 各校区の15歳未満人口推計

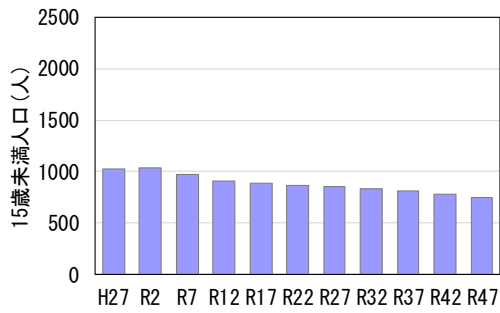
施設名	H27	R2	R7	R12	R17	R22	R27	R32	R37	R42	R47
2 穂積小	2033	2132	2135	2127	2067	2024	1951	1863	1777	1713	1667
3 本田小	1305	1331	1298	1261	1238	1235	1215	1174	1126	1079	1040
4 生津小	1025	1036	976	912	886	867	850	831	812	778	746
5 西小	700	664	636	664	656	650	640	623	601	572	546
6 南小	1268	1211	1112	1056	1053	1054	1042	1026	996	953	902
7 牛牧小	2068	2154	2100	1927	1876	1836	1789	1743	1704	1654	1586
8 中小	454	435	431	460	441	437	431	413	387	368	358
9 穂積中	4101	4286	4235	4054	3943	3860	3740	3605	3481	3368	3254
10 穂積北中	2330	2367	2274	2173	2124	2102	2065	2005	1938	1857	1786
11 巣南中	2422	2310	2179	2180	2151	2141	2114	2062	1984	1892	1806



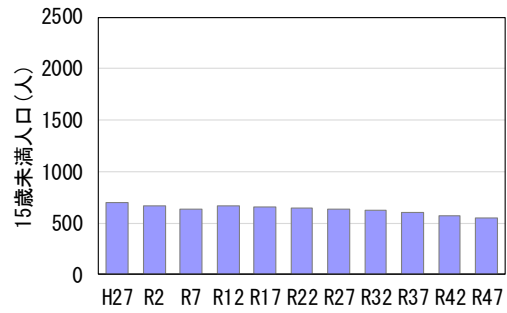
(1) 穂積小



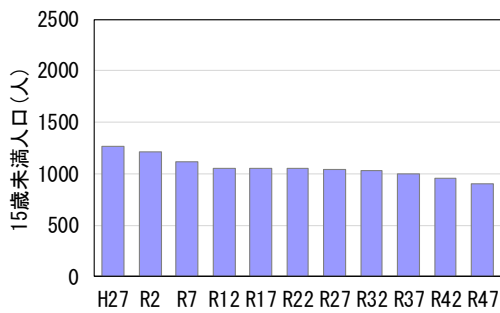
(2) 本田小



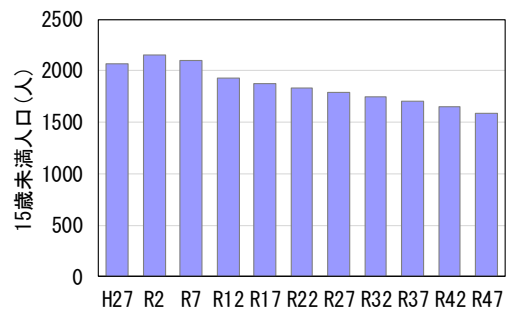
(3) 生津小



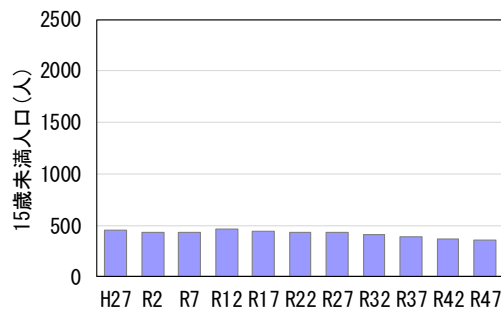
(4) 西小



(5) 南小

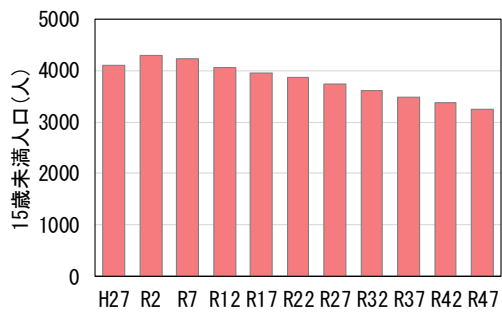


(6) 牛牧小

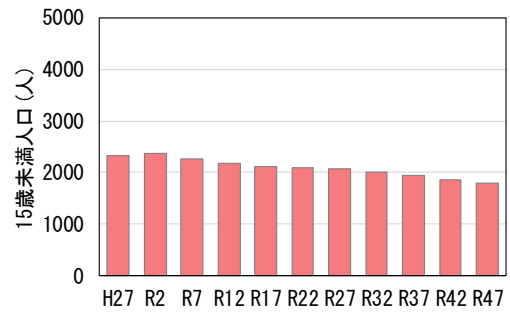


(7) 中小

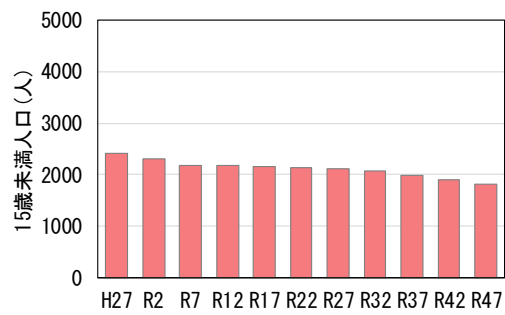
図 3.8 各小学校の 15 歳未満人口推計



(1) 穂積中



(2) 穂積北中



(3) 巢南中

図 3.9 各中学校区の 15 歳未満人口推計

(5) 学校開放の状況

平成30年度、令和元年度の体育館の利用状況をみると、小学校7校、中学校3校において、体育館が積極的に活用されていることが確認できます。

※利用回数は、申込利用件数として集計しています。

※ミーティング室は含みません。

※中学校体育館は、柔剣道場・卓球場を含みます。

表 3.7 平成30年度学校体育施設利用状況

学校名	施設名	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 (円)	主な利用用途・団体名
穂積小	体育館	利用回数	45	52	60	57	48	54	65	66	53	46	45	34	625	スポーツ少年団・各地域クラブ・サークル等
		利用人数	743	819	973	898	622	954	952	1,412	1,010	786	929	536	10,634	
本田小	体育館	利用回数	31	52	55	39	32	38	43	39	38	38	31	35	471	スポーツ少年団・各地域クラブ・サークル等
		利用人数	581	1,222	1,008	824	549	646	740	975	1,212	607	562	923	9,849	
生津小	体育館	利用回数	27	29	33	29	27	25	35	34	32	30	30	28	359	スポーツ少年団・各地域クラブ・サークル等
		利用人数	365	520	510	448	402	425	491	912	784	497	872	559	6,785	
西小	体育館	利用回数	26	27	28	30	23	28	23	25	26	22	28	27	313	スポーツ少年団・各地域クラブ・サークル等
		利用人数	369	430	385	400	341	480	413	523	424	472	396	448	5,081	
南小	体育館	利用回数	26	26	32	26	27	23	29	28	24	18	23	19	301	スポーツ少年団・各地域クラブ・サークル等
		利用人数	449	428	757	512	424	497	558	971	633	243	387	428	6,287	
牛牧小	体育館	利用回数	47	53	57	47	41	40	45	46	39	38	40	25	518	スポーツ少年団・各地域クラブ・サークル等
		利用人数	657	796	945	733	519	707	1,243	782	879	727	730	517	9,235	
中小	体育館	利用回数	29	33	27	35	34	30	34	31	33	23	35	24	368	各地域クラブ・サークル等
		利用人数	756	959	674	985	816	679	905	862	755	609	869	580	9,449	
小学校小計		利用回数	231	272	292	263	232	238	274	269	245	215	232	192	2,955	
		利用人数	3,920	5,174	5,252	4,800	3,673	4,388	5,302	6,437	5,697	3,941	4,745	3,991	57,320	
穂積中	体育館	利用回数	118	121	112	119	107	106	125	107	108	103	104	112	1,342	スポーツ少年団・各地域クラブ・サークル等
		利用人数	1,739	1,948	1,850	1,815	1,634	1,619	1,978	1,911	1,668	1,624	1,655	1,908	21,349	
穂積北中	体育館	利用回数	44	57	53	60	45	54	60	67	39	42	37	45	603	各地域クラブ・サークル等
		利用人数	479	561	677	731	472	651	659	1,038	390	397	386	695	7,136	
巢南中	体育館	利用回数	83	101	82	75	75	104	97	110	101	95	81	124	1,128	スポーツ少年団・各地域クラブ・サークル等
		利用人数	2,187	2,490	2,640	1,915	1,678	3,038	2,335	2,049	1,965	1,829	1,890	3,031	27,047	
中学校小計		利用回数	245	279	247	254	227	264	282	284	248	240	222	281	3,073	
		利用人数	4,405	4,999	5,167	4,461	3,784	5,308	4,972	4,998	4,023	3,850	3,931	5,634	55,532	
合計		利用回数	476	551	539	517	459	502	556	553	493	455	454	473	6,028	
		利用人数	8,325	10,173	10,419	9,261	7,457	9,696	10,274	11,435	9,720	7,791	8,676	9,625	112,852	

表 3.8 令和元年度学校体育施設利用状況

※新型コロナウイルスの感染予防対策として、3月3日より使用を休止しており、集計外として扱っています。

学校名	施設名	項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計 (円)	主な利用用途・ 団体名
穂積小	体育館	利用 回数	35	46	73	63	55	55	68	71	63	61	68	0	658	スポーツ少年 団・各地域クラ ブ・サークル等
本田小	体育館	利用 回数	31	32	39	43	28	34	41	53	38	33	44	0	416	スポーツ少年 団・各地域クラ ブ・サークル等
生津小	体育館	利用 回数	15	26	31	35	36	28	29	37	39	33	34	0	343	スポーツ少年 団・各地域クラ ブ・サークル等
西小	体育館	利用 回数	25	26	34	29	34	31	29	30	26	22	27	0	313	スポーツ少年 団・各地域クラ ブ・サークル等
南小	体育館	利用 回数	20	24	33	32	0	27	28	36	29	23	37	0	289	スポーツ少年 団・各地域クラ ブ・サークル等
牛牧小	体育館	利用 回数	29	34	49	49	36	38	47	48	43	38	42	0	453	スポーツ少年 団・各地域クラ ブ・サークル等
中小	体育館	利用 回数	26	28	37	45	31	27	35	29	30	28	30	0	346	各地域クラブ・ サークル等
小学校小計		利用 回数	181	216	296	296	220	240	277	304	268	238	282	0	2,818	
徳積中	体育館	利用 回数	124	117	171	187	115	128	142	159	148	157	165	0	1613	スポーツ少年 団・各地域クラ ブ・サークル等
徳積北 中	体育館	利用 回数	43	51	68	87	73	98	96	94	77	82	76	0	845	各地域クラブ・ サークル等
巢南中	体育館	利用 回数	87	105	106	133	89	132	124	108	97	111	102	0	1194	スポーツ少年 団・各地域クラ ブ・サークル等
中学校小計		利用 回数	254	273	345	407	277	358	362	361	322	350	343	0	3,652	
合計		利用 回数	435	489	641	703	497	598	639	665	590	588	625	0	6,470	

(6) 指定緊急避難場所及び指定避難所等

本市では、全ての学校施設等が指定緊急避難場所に指定されています。

表 3.9 指定緊急避難場所

学校名			指定緊急避難場所災害対応区分			
			洪水	内水	地震	火災
幼稚園	1	ほづみ幼稚園			○	○
小学校	2	穂積小学校	○	○	○	○
	3	本田小学校	○	○	○	○
	4	生津小学校	○	○	○	○
	5	西小学校	○	○	○	○
	6	南小学校	○	○	○	○
	7	牛牧小学校	○	○	○	○
	8	中小学校	○	○	○	○
中学校	9	穂積中学校	○	○	○	○
	10	穂積北中学校	○	○	○	○
	11	巢南中学校	○	○	○	○

表 3.10 広域避難場所（グラウンド）

施設名			指定避難所
幼稚園	1	ほづみ幼稚園	
小学校	2	穂積小学校	○
	3	本田小学校	○
	4	生津小学校	○
	5	西小学校	○
	6	南小学校	○
	7	牛牧小学校	○
	8	中小学校	○
中学校	9	穂積中学校	○
	10	穂積北中学校	○(校舎南球技場)
	11	巢南中学校	○

表 3.11 指定避難所

施設名			指定避難所	収容可能人数(人)
幼稚園	1	ほづみ幼稚園	○	440
小学校	2	穂積小学校	○(校舎・体育館)	1,740
	3	本田小学校	○(校舎・体育館)	1,000
	4	生津小学校	○(校舎・体育館)	1,000
	5	西小学校	○(校舎・体育館)	780
	6	南小学校	○(校舎・体育館)	920
	7	牛牧小学校	○(校舎・体育館)	1,480
	8	中小学校	○(校舎・体育館)	810
中学校	9	穂積中学校	○(校舎・体育館)	2,240
	10	穂積北中学校	○(校舎・体育館)	1,580
	11	巢南中学校	○(校舎・体育館)	1,380

- ・「指定緊急避難場所」は災害が発生し、又は発生するおそれがあるときにその危険から逃れるために避難する施設や場所である。
- ・「広域避難場所」は主に地震等による火災が延焼拡大して地域全体が危険になった場合の避難場所である。
- ・「指定避難所」は、災害が発生した場合に、避難した住民が災害の危険性がなくなるまで必要な間滞在する施設である。

(出典：瑞穂市地域防災計画（平成 30 年 3 月）)

(7) 施設関連経費の推移

幼稚園費、小学校費、中学校費のうち、施設整備費（校舎等の改築や大規模改修に関連する費用）、その他施設整備費（設備更新や中規模改修に関する費用）、維持修繕費（営繕工事等）、光熱水費・委託費（施設保守・設計監理等）を確認しました。

平成27年度から令和元年度までの平均は、施設整備費合計が約5.4億円、維持修繕費合計が約900万円、光熱水費・委託費合計が約1.0億円となっています。

表3.12 施設関連経費の推移（単位：千円）

	費目	H27	H28	H29	H30	R1	平均
幼稚園	施設整備費	29,859	36,664	0	80,461	73,544	44,105
	その他施設整備費	253	1,285	7,742	1,194	1,975	2,489
	維持修繕費	342	117	178	243	611	298
	光熱水費・委託費	5,788	4,982	7,872	5,710	7,681	6,406
小学校	施設整備費	1,328,331	170,355	530,181	0	26,971	411,168
	その他施設整備費	27,297	29,439	22,513	13,327	14,586	21,432
	維持修繕費	2,129	2,896	2,646	5,594	20,812	6,815
	光熱水費・委託費	77,018	72,656	69,294	58,205	62,077	67,850
中学校	施設整備費	22,172	199,697	0	242,045	0	92,783
	その他施設整備費	12,802	9,269	7,754	16,693	9,948	11,293
	維持修繕費	919	905	989	1,649	7,301	2,353
	光熱水費・委託費	35,349	34,391	32,957	34,429	33,927	34,211
合計	施設整備費	1,380,362	406,716	530,181	322,506	100,515	548,056
	その他施設整備費	40,351	39,993	38,009	31,214	26,508	35,215
	維持修繕費	3,390	3,918	3,813	7,487	28,724	9,467
	光熱水費・委託費	118,155	112,029	110,123	98,343	103,685	108,467

(8) 学校施設等の保有量

① 棟別施設概要

対象施設（幼稚園1校、小学校7校、中学校3校）の棟数は132棟となります。そのうち、築50年以上の棟はほづみ幼稚園に6棟、穂積小学校に1棟、本田小学校に3棟、牛牧小学校の3棟、中小学校に1棟、巢南中学校に2棟あり、合計16棟あります。築30年以上50年未満の棟は、合計87棟あります。

表 3.13 棟別施設概要(1/4)

建物基本情報													
通し 番号	学校 調査 番号	施設名	建物名	棟番号	固定資 産台帳 番号	用途区分		構造	階数	延床 面積 (㎡)	建築年度		築年 数
						学校種別	建物用途				西暦	和暦	
1	6611	ほづみ幼稚園	校舎	001		幼稚園	園舎	S	1	436	1968	S43	53
2	6611	ほづみ幼稚園	校舎	002-1		幼稚園	園舎	RC	2	431	1968	S43	53
3	6611	ほづみ幼稚園	校舎	002-2		幼稚園	園舎	RC	2	58	1981	S56	40
4	6611	ほづみ幼稚園	校舎	003		幼稚園	園舎	RC	1	266	1968	S43	53
5	6611	ほづみ幼稚園	校舎	004		幼稚園	園舎	RC	1	280	1968	S43	53
6	6611	ほづみ幼稚園	校舎	005		幼稚園	園舎	RC	1	47	1968	S43	53
7	6611	ほづみ幼稚園	校舎	006		幼稚園	園舎	RC	1	61	1968	S43	53
8	6611	ほづみ幼稚園	校舎	007		幼稚園	園舎	RC	2	488	1973	S48	48
9	6611	ほづみ幼稚園	校舎	008		幼稚園	園舎	S	1	164	1981	S56	40
10	6611	ほづみ幼稚園	校舎	009		幼稚園	園舎	S	1	84	1981	S56	40
11	6611	ほづみ幼稚園	校舎	011		幼稚園	園舎	S	1	74	1981	S56	40
12	6611	ほづみ幼稚園	校舎	012		幼稚園	園舎	S	1	71	1981	S56	40
13	6611	ほづみ幼稚園	校舎	013		幼稚園	園舎	S	2	5	1986	S61	35
14	6611	ほづみ幼稚園	校舎	014		幼稚園	園舎	S	2	6	1985	S60	36
15	0244	穂積小学校	校舎	001		小学校	校舎	RC	3	1,941	1968	S43	53
16	0244	穂積小学校	校舎	002		小学校	校舎	RC	2	47	1973	S48	48
17	0244	穂積小学校	校舎	003		小学校	校舎	RC	2	47	1973	S48	48
18	0244	穂積小学校	校舎	004		小学校	校舎	RC	2	58	1975	S50	46
19	0244	穂積小学校	校舎	005		小学校	校舎	RC	2	47	1975	S50	46
20	0244	穂積小学校	校舎	011		小学校	校舎	RC	3	2,282	1973	S48	48
21	0244	穂積小学校	校舎	012		小学校	校舎	S	3	110	1973	S48	48
22	0244	穂積小学校	校舎	013		小学校	校舎	RC	3	1,607	1975	S50	46
23	0244	穂積小学校	校舎	014		小学校	校舎	RC	1	50	1998	H10	23
24	0244	穂積小学校	校舎	015		小学校	校舎	S	1	29	1975	S50	46
25	0244	穂積小学校	校舎	017		小学校	校舎	RC	3	2,030	1976	S51	45
26	0244	穂積小学校	校舎	018		小学校	校舎	S	1	6	1985	S60	36
27	0244	穂積小学校	校舎	022		小学校	校舎	RC	1	65	1996	H8	25
28	0244	穂積小学校	校舎	023		小学校	校舎	RC	1	57	1996	H8	25
29	0244	穂積小学校	屋内運動場	026-1		小学校	体育館	RC	2	1,335	1999	H11	22
30	0244	穂積小学校	地域・学校連携施設	026-2		小学校	その他	RC	2	208	1999	H11	22

■ : 築50年以上 ■ : 築30年以上

表 3.13 棟別施設概要(2/4)

建物基本情報													
通し 番号	学校 調査 番号	施設名	建物名	棟番号	固定資 産台帳 番号	用途区分		構造	階数	延床 面積 (㎡)	建築年度		築年 数
						学校種別	建物用途				西暦	和暦	
31	0245	本田小学校	校舎	001		小学校	校舎	RC	3	1,651	1970	S45	51
32	0245	本田小学校	校舎	002		小学校	校舎	RC	3	2,113	1970	S45	51
33	0245	本田小学校	校舎	004		小学校	校舎	S	1	29	1970	S45	51
34	0245	本田小学校	校舎	008		小学校	校舎	S	1	94	1979	S54	42
35	0245	本田小学校	校舎	009		小学校	校舎	S	1	6	1981	S56	40
36	0245	本田小学校	校舎	010		小学校	校舎	S	1	5	1984	S59	37
37	0245	本田小学校	屋内運動場	011-1		小学校	体育館	RC	2	918	1986	S61	35
38	0245	本田小学校	屋内運動場	011-2		小学校	体育館	RC	2	251	1986	S61	35
39	0245	本田小学校	校舎	012		小学校	校舎	S	1	41	1986	S61	35
40	0245	本田小学校	校舎	013		小学校	校舎	S	1	21	1991	H3	30
41	0245	本田小学校	校舎	014		小学校	校舎	RC	2	728	2005	H17	16
42	0246	牛牧小学校	校舎	001		小学校	校舎	RC	3	4,315	1969	S44	52
43	0246	牛牧小学校	校舎	012		小学校	校舎	S	1	29	1969	S44	52
44	0246	牛牧小学校	校舎	013		小学校	校舎	S	1	11	1970	S45	51
45	0246	牛牧小学校	校舎	014		小学校	校舎	S	3	7	1972	S47	49
46	0246	牛牧小学校	校舎	015		小学校	校舎	S	1	69	1976	S51	45
47	0246	牛牧小学校	校舎	018		小学校	校舎	S	1	11	1976	S51	45
48	0246	牛牧小学校	校舎	019		小学校	校舎	S	1	24	1976	S51	45
49	0246	牛牧小学校	校舎	020		小学校	校舎	RC	4	1,749	1980	S55	41
50	0246	牛牧小学校	校舎	021		小学校	校舎	S	1	6	1982	S57	39
51	0246	牛牧小学校	屋内運動場	022-1		小学校	体育館	RC	2	947	1989	H元	32
52	0246	牛牧小学校	地域・学校連携 施設	022-2		小学校	その他	RC	2	243	1989	H元	32
53	0246	牛牧小学校	校舎	023		小学校	校舎	RC	3	1,073	2016	H28	5
54	0247	牛牧小学校	校舎	024		小学校	校舎	RC	1	15	2003	H15	18
55	0247	南小学校	校舎	001		小学校	校舎	RC	2	519	1979	S54	42
56	0247	南小学校	校舎	002		小学校	校舎	S	1	10	1979	S54	42
57	0247	南小学校	校舎	008-1		小学校	校舎	RC	3	931	1974	S49	47
58	0247	南小学校	校舎	008-2		小学校	校舎	RC	3	926	1975	S50	46
59	0247	南小学校	校舎	008-3		小学校	校舎	RC	1	40	1996	H8	25
60	0247	南小学校	屋内運動場	011-1		小学校	体育館	RC	2	738	1981	S56	40
61	0247	南小学校	校舎	011-2		小学校	校舎	S	2	87	1981	S56	40
62	0247	南小学校	校舎	012-1		小学校	校舎	RC	3	1,128	1984	S59	37
63	0247	南小学校	校舎	012-2		小学校	校舎	RC	1	25	2008	H20	13
64	0247	南小学校	校舎	012-3		小学校	校舎	RC	3	47	2008	H20	13
65	0247	南小学校	校舎	012-4		小学校	校舎	RC	1	8	2008	H20	13
66	0247	南小学校	校舎	013-1		小学校	校舎	RC	1	78	1987	S62	34
67	0247	南小学校	校舎	014		小学校	校舎	RC	3	294	2008	H20	13
68	0247	南小学校	校舎	015		小学校	校舎	RC	3	306	2008	H20	13
69	0247	南小学校	校舎	016		小学校	校舎	S	1	15	1996	H8	25
70	0248	中小学校	校舎	001-1		小学校	校舎	RC	3	179	1978	S53	43
71	0248	中小学校	校舎	001-2		小学校	校舎	RC	3	903	1978	S53	43
72	0248	中小学校	校舎	001-3		小学校	校舎	RC	3	2,040	1978	S53	43
73	0248	中小学校	校舎	006		小学校	校舎	W	1	259	1962	S37	59
74	0248	中小学校	校舎	009		小学校	校舎	S	1	38	1974	S49	47
75	0248	中小学校	屋内運動場	012		小学校	体育館	RC	2	1,002	1985	S60	36
76	0248	中小学校	校舎	013		小学校	校舎	S	1	79	1979	S54	42
77	0248	中小学校	校舎	014		小学校	校舎	S	1	24	2010	H22	11

■ : 築50年以上 ■ : 築30年以上

表 3.13 棟別施設概要(3/4)

建物基本情報													
通し 番号	学校 調査 番号	施設名	建物名	棟番号	固定資 産台帳 番号	用途区分		構造	階数	延床 面積 (㎡)	建築年度		築年 数
						学校種別	建物用途				西暦	和暦	
78	0249	西小学校	校舎	001-1		小学校	校舎	RC	2	529	1978	S53	43
79	0249	西小学校	校舎	001-2		小学校	校舎	S	1	10	1978	S53	43
80	0249	西小学校	校舎	015		小学校	校舎	S	1	39	1973	S48	48
81	0249	西小学校	校舎	017		小学校	校舎	RC	3	2,784	1980	S55	41
82	0249	西小学校	校舎	018		小学校	校舎	S	1	12	1980	S55	41
83	0249	西小学校	校舎	019		小学校	校舎	S	1	26	1980	S55	41
84	0249	西小学校	屋内運動場	020		小学校	体育館	RC	2	958	1983	S58	38
85	0265	生津小学校	校舎	001		小学校	校舎	RC	3	2,932	1979	S54	42
86	0265	生津小学校	屋内運動場	002		小学校	体育館	RC	1	670	1980	S55	41
87	0265	生津小学校	校舎	003		小学校	校舎	RC	1	89	1981	S56	40
88	0265	生津小学校	校舎	004		小学校	校舎	S	1	10	1981	S56	40
89	0265	生津小学校	校舎	008		小学校	校舎	S	1	36	1988	S63	33
90	0265	生津小学校	校舎	011		小学校	校舎	S	1	31	1980	S55	41
91	0265	生津小学校	校舎	012		小学校	校舎	RC	3	1,836	1996	H8	25
92	3623	穂積中学校	校舎	008		中学校	校舎	RC	1	353	1972	S47	49
93	3623	穂積中学校	校舎	011		中学校	校舎	RC	3	3,323	1972	S47	49
94	3623	穂積中学校	校舎	014		中学校	校舎	S	1	127	1982	S57	39
95	3623	穂積中学校	校舎	016		中学校	校舎	S	1	13	1983	S58	38
96	3623	穂積中学校	校舎	017		中学校	校舎	RC	1	142	1985	S60	36
97	3623	穂積中学校	校舎	018		中学校	校舎	RC	1	23	1986	S61	35
98	3623	穂積中学校	部室	019		中学校	その他	S	1	87	1986	S61	35
99	3623	穂積中学校	屋内運動場	020-1		中学校	体育館	RC	2	2,633	1988	S63	33
100	3623	穂積中学校	屋内運動場	020-2		中学校	体育館	RC	2	13	1988	S63	33
101	3623	穂積中学校	部室	020-3		中学校	その他	RC	2	261	1988	S63	33
102	3623	穂積中学校	地域・学校連携 施設	020-9		中学校	その他	RC	2	69	1988	S63	33
103	3623	穂積中学校	校舎	021		中学校	校舎	RC	4	5,811	2010	H22	11
104	3623	穂積中学校	校舎	022		中学校	校舎	S	3	14	2010	H22	11
105	3623	穂積中学校	校舎	023		中学校	校舎	RC	2	17	2010	H22	11
106	3623	穂積中学校	校舎	024		中学校	校舎	S	1	11	2010	H22	11
107	3623	穂積中学校	部室	025		中学校	その他	RC	1	41	1986	S61	35
108	3623	穂積中学校	部室	026		中学校	その他	RC	1	66	2019	R元	2
109	3628	穂積北中学校	校舎	001		中学校	校舎	RC	3	2,145	1984	S59	37
110	3628	穂積北中学校	校舎	002		中学校	校舎	RC	3	630	1984	S59	37
111	3628	穂積北中学校	校舎	003		中学校	校舎	RC	3	4,482	1984	S59	37
112	3628	穂積北中学校	屋内運動場	004-1		中学校	体育館	RC	2	1,389	1984	S59	37
113	3628	穂積北中学校	地域・学校連携 施設	004-2		中学校	その他	RC	2	269	1984	S59	37
114	3628	穂積北中学校	部室	005		中学校	その他	S	1	145	1984	S59	37
115	3628	穂積北中学校	校舎	006		中学校	校舎	RC	1	37	1984	S59	37
116	3628	穂積北中学校	校舎	007		中学校	校舎	RC	1	38	1984	S59	37

■ : 築50年以上 ■ : 築30年以上

表 3.13 棟別施設概要 (4/4)

建物基本情報													
通し 番号	学校 調査 番号	施設名	建物名	棟番号	固定資 産台帳 番号	用途区分		構造	階数	延床 面積 (㎡)	建築年度		築年 数
						学校種別	建物用途				西暦	和暦	
117	3624	巢南中学校	校舎	001-1		中学校	校舎	RC	3	2,464	1970	S45	51
118	3624	巢南中学校	校舎	001-2		中学校	校舎	RC	3	8	1988	S63	33
119	3624	巢南中学校	校舎	002-1		中学校	校舎	RC	3	1,293	1982	S57	39
120	3624	巢南中学校	校舎	002-2		中学校	校舎	RC	3	42	1996	H8	25
121	3624	巢南中学校	校舎	004		中学校	校舎	S	1	49	1971	S46	50
122	3624	巢南中学校	部室	008		中学校	その他	S	1	102	1979	S54	42
123	3624	巢南中学校	校舎	009		中学校	校舎	RC	1	76	1980	S55	41
124	3624	巢南中学校	屋内運動場	010		中学校	体育館	S	1	741	1981	S56	40
125	3624	巢南中学校	部室	011		中学校	その他	S	1	30	1983	S58	38
126	3624	巢南中学校	校舎	012		中学校	校舎	S	1	46	2011	H23	10
127	3624	巢南中学校	屋内運動場	013-1		中学校	体育館	RC	2	2,251	1992	H4	29
128	3624	巢南中学校	屋内運動場	013-2		中学校	体育館	S	2	103	1992	H4	29
129	3624	巢南中学校	校舎	014		中学校	校舎	S	1	39	1992	H4	29
130	3624	巢南中学校	校舎	015		中学校	校舎	RC	3	1,606	2011	H23	10
131	3624	巢南中学校	校舎	016		中学校	校舎	S	2	75	2011	H23	10
132	3624	巢南中学校	校舎	017		中学校	校舎	S	1	16	1988	S63	33

■ : 築50年以上 ■ : 築30年以上

② 年度別整備状況

学校施設等の建築年度ごとの施設面積は以下のとおりです。

現時点における築50年以上の建物は面積ベースで全体の約19%、築30年以上の建物は面積ベースで全体の約79%です。

また、旧耐震基準（昭和56年以前建築）の建物は全体の約54%を占めています。

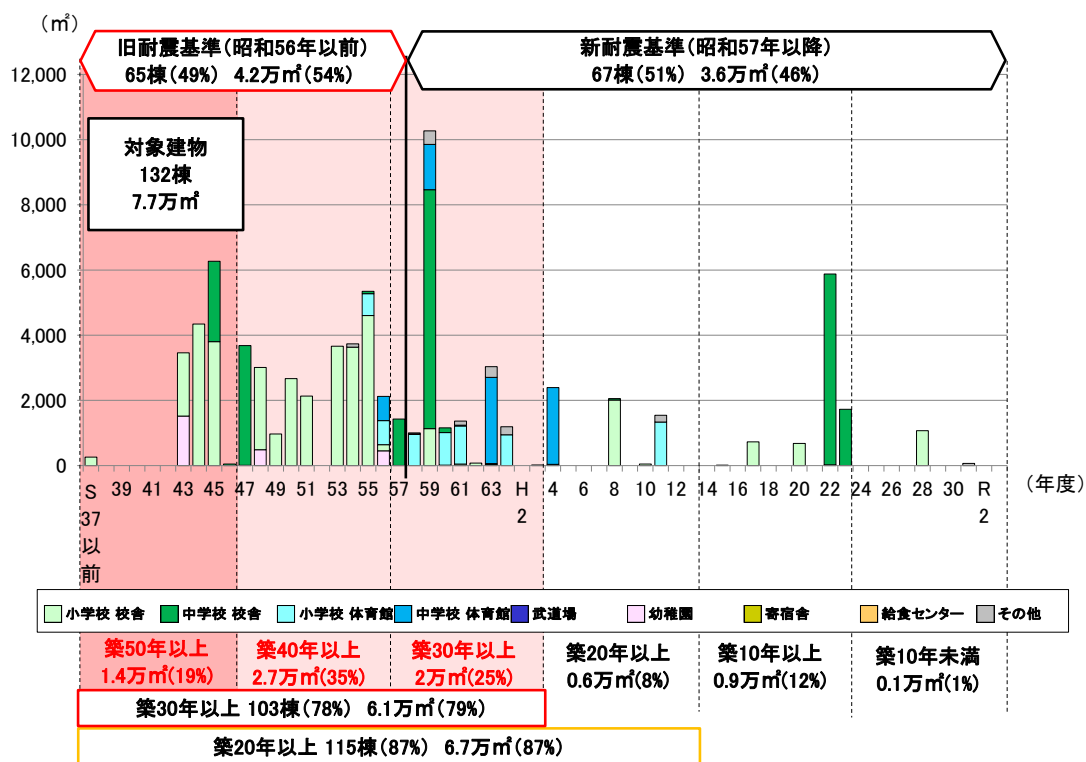


図 3.10 築年別整備状況

2. 学校施設等の老朽化状況の実態

(1) 構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価

文部科学省の学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書に基づき、対象施設（幼稚園 1 校、小学校 7 校、中学校 3 校）の 132 棟のうち小規模な建物を除く 84 棟を対象に、現地での目視調査等を実施し、「屋根・屋上」「外壁」「内部仕上」「電気設備」「機械設備」の 5 つの部位に関して A～D の 4 段階評価を棟ごとに行いました。また、劣化状況評価の結果を踏まえ、対象施設の優先度を検討するために、部位ごとの A～D 評価をもとに、健全度を算出しました。

表 3.14 構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価(1/3)

建物基本情報					構造躯体の健全性					劣化状況評価						
通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	棟番号	耐震安全性			長寿命化判定			屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度 (100点満点)
					基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度(N/mm ²)	試算上の区分						
1	6611	ほづみ幼稚園	校舎	001	旧	済	-	-	-	長寿命	B	B	B	C	C	66
2	6611	ほづみ幼稚園	校舎	002-1	旧	済	-	2020	16	長寿命	B	B	B	B	B	75
3	6611	ほづみ幼稚園	校舎	002-2	旧	済	済	2020	16	長寿命	B	B	B	B	B	75
4	6611	ほづみ幼稚園	校舎	003	旧	済	-	2020	22.7	長寿命	B	B	B	B	B	75
5	6611	ほづみ幼稚園	校舎	004	旧	済	-	-	-	長寿命	C	B	B	B	B	72
6	6611	ほづみ幼稚園	校舎	005	旧	済	-	-	-	長寿命	C	B	B	B	B	72
7	6611	ほづみ幼稚園	校舎	006	旧	済	-	-	-	長寿命	C	B	B	B	B	72
8	6611	ほづみ幼稚園	校舎	007	旧	済	済	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
9	6611	ほづみ幼稚園	校舎	008	旧	済	済	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
11	6611	ほづみ幼稚園	校舎	011	旧	済	済	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
12	6611	ほづみ幼稚園	校舎	012	旧	済	済	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
13	6611	ほづみ幼稚園	校舎	013	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
14	6611	ほづみ幼稚園	校舎	014	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
15	0244	穂積小学校	校舎	001	旧	済	-	2005	22.1	長寿命	B	B	B	B	B	75
16	0244	穂積小学校	校舎	002	旧	済	済	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
17	0244	穂積小学校	校舎	003	旧	済	済	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
18	0244	穂積小学校	校舎	004	旧	済	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
19	0244	穂積小学校	校舎	005	旧	済	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
20	0244	穂積小学校	校舎	011	旧	済	済	2005	49.5	長寿命	B	B	C	B	B	62
21	0244	穂積小学校	校舎	012	旧	済	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
22	0244	穂積小学校	校舎	013	旧	済	-	2005	33.9	長寿命	B	B	B	B	B	75
23	0244	穂積小学校	校舎	014	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
25	0244	穂積小学校	校舎	017	旧	済	済	2005	28.2	長寿命	B	B	B	B	B	75
29	0244	穂積小学校	屋内運動場	026-1	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
30	0244	穂積小学校	地域・学校連携施設	026-2	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75

A : 概ね良好 C : 広範囲に劣化
B : 部分的に劣化 D : 早急に対応する必要がある

表 3.14 構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価(2/3)

建物基本情報					構造躯体の健全性					劣化状況評価						
通し 番号	学校 調査 番号	施設名	建物名	棟番号	耐震安全性			長寿命化判定			屋根・ 屋上	外 壁	内 部 仕 上	電 気 設 備	機 械 設 備	健全度 (100点 満点)
					基準	診断	補強	調査 年度	圧縮 強度 (N/㎡)	試算上 の区分						
31	0245	本田小学校	校舎	001	旧	済	-	2020	25	長寿命	B	B	B	B	B	75
32	0245	本田小学校	校舎	002	旧	済	-	2020	24.7	長寿命	B	B	B	B	B	75
37	0245	本田小学校	屋内運動場	011-1	新	-	-	2020	32.3	長寿命	B	B	A	A	A	91
38	0245	本田小学校	屋内運動場	011-2	新	-	-	2020	32.3	長寿命	B	B	B	A	A	81
41	0245	本田小学校	校舎	014	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	A	A	81
42	0246	牛牧小学校	校舎	001	旧	済	済	2020	28.8	長寿命	B	B	B	B	B	75
45	0246	牛牧小学校	校舎	014	旧	済	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
49	0246	牛牧小学校	校舎	020	旧	済	-	2020	37.9	長寿命	B	C	B	A	A	71
51	0246	牛牧小学校	屋内運動場	022-1	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	C	B	B	49
52	0246	牛牧小学校	地域・学校連携 施設	022-2	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	C	B	B	49
53	0246	牛牧小学校	校舎	023	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	A	A	A	93
55	0247	南小学校	校舎	001	旧	済	-	2004	41.6	長寿命	B	B	A	A	A	91
57	0247	南小学校	校舎	008-1	旧	済	-	2004	20	長寿命	B	B	B	A	A	81
58	0247	南小学校	校舎	008-2	旧	済	-	2004	20	長寿命	B	B	B	A	A	81
59	0247	南小学校	校舎	008-3	新	-	-	2004	20	長寿命	B	B	B	A	A	81
60	0247	南小学校	屋内運動場	011-1	旧	済	-	2004	30.3	長寿命	C	C	B	B	B	62
61	0247	南小学校	校舎	011-2	旧	済	-	2004	30.3	長寿命	C	C	B	B	B	62
62	0247	南小学校	校舎	012-1	新	-	-	2020	37.1	長寿命	B	B	B	B	B	75
63	0247	南小学校	校舎	012-2	新	-	-	2020	37.1	長寿命	B	B	B	B	B	75
64	0247	南小学校	校舎	012-3	新	-	-	2020	37.1	長寿命	B	B	B	B	B	75
65	0247	南小学校	校舎	012-4	新	-	-	2020	37.1	長寿命	B	B	B	B	B	75
67	0247	南小学校	校舎	014	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	A	A	A	91
68	0247	南小学校	校舎	015	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	A	A	A	91
69	0247	南小学校	校舎	016	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	A	A	81
70	0248	中小学校	校舎	001-1	旧	済	-	2004	39.1	長寿命	B	B	B	B	B	75
71	0248	中小学校	校舎	001-2	旧	済	-	2004	39.1	長寿命	B	B	B	B	B	75
72	0248	中小学校	校舎	001-3	旧	済	-	2004	39.1	長寿命	C	C	B	B	B	62
75	0248	中小学校	屋内運動場	012	新	-	-	2020	40.9	長寿命	B	C	B	B	B	65
78	0249	西小学校	校舎	001-1	旧	済	-	2004	32.7	長寿命	B	C	B	B	B	65
79	0249	西小学校	校舎	001-2	旧	済	-	2004	32.7	長寿命	B	C	B	B	B	65
81	0249	西小学校	校舎	017	旧	済	-	2004	37.9	長寿命	C	B	B	A	A	78
84	0249	西小学校	屋内運動場	020	新	-	-	2020	31.2	長寿命	B	B	B	B	A	78
85	0265	生津小学校	校舎	001	旧	済	-	2020	25.3	長寿命	C	C	C	B	B	49
86	0265	生津小学校	屋内運動場	002	旧	済	-	2020	24.8	長寿命	C	C	C	B	B	49
91	0265	生津小学校	校舎	012	新	-	-	-	-	長寿命	C	B	C	A	A	65

A : 概ね良好 C : 広範囲に劣化
B : 部分的に劣化 D : 早急に対応する必要がある

表 3.14 構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価(3/3)

建物基本情報					構造躯体の健全性						劣化状況評価					
通し 番号	学校 調査 番号	施設名	建物名	棟番号	耐震安全性			長寿命化判定			屋根・ 屋上	外 壁	内 部 仕 上	電 気 設 備	機 械 設 備	健全度 (100点 満点)
					基 準	診 断	補 強	調 査 年 度	圧 縮 強 度 (N/mm ²)	試 算 上 の 区 分						
92	3623	穂積中学校	校舎	008	旧	済	-	2020	21.4	長寿命	B	B	B	B	B	75
93	3623	穂積中学校	校舎	011	旧	済	-	2020	18.6	長寿命	B	D	C	B	B	43
99	3623	穂積中学校	屋内運動場	020-1	新	-	-	2020	52.3	長寿命	C	C	D	B	B	38
100	3623	穂積中学校	屋内運動場	020-2	新	-	-	2020	52.3	長寿命	C	C	D	B	B	38
101	3623	穂積中学校	部室	020-3	新	-	-	2020	52.3	長寿命	C	C	D	B	B	38
102	3623	穂積中学校	地域・学校連携施設	020-9	新	-	-	2020	52.3	長寿命	C	C	D	B	B	38
103	3623	穂積中学校	校舎	021	新	-	-	-	-	長寿命	A	C	A	A	A	83
104	3623	穂積中学校	校舎	022	新	-	-	-	-	長寿命	A	C	A	A	A	83
105	3623	穂積中学校	校舎	023	新	-	-	-	-	長寿命	A	C	A	A	A	83
109	3628	穂積北中学校	校舎	001	新	-	-	2020	43.1	長寿命	B	B	C	B	B	62
110	3628	穂積北中学校	校舎	002	新	-	-	2020	25.7	長寿命	B	B	B	A	B	78
111	3628	穂積北中学校	校舎	003	新	-	-	2020	25.1	長寿命	B	B	B	B	B	75
112	3628	穂積北中学校	屋内運動場	004-1	新	-	-	2020	26.7	長寿命	C	B	C	B	B	59
113	3628	穂積北中学校	地域・学校連携施設	004-2	新	-	-	2020	26.7	長寿命	B	B	B	B	B	75
117	3624	巢南中学校	校舎	001-1	旧	済	済	2004	23.2	長寿命	D	C	C	B	B	46
118	3624	巢南中学校	校舎	001-2	新	-	-	2004	23.2	長寿命	D	C	C	B	B	46
119	3624	巢南中学校	校舎	002-1	新	-	-	2004	36.7	長寿命	B	B	B	B	B	75
120	3624	巢南中学校	校舎	002-2	新	-	-	2004	36.7	長寿命	B	B	B	B	B	75
124	3624	巢南中学校	屋内運動場	010	旧	済	済	-	-	長寿命	C	C	B	B	B	62
126	3624	巢南中学校	校舎	012	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	A	A	A	93
127	3624	巢南中学校	屋内運動場	013-1	新	-	-	-	-	長寿命	B	C	B	A	A	71
128	3624	巢南中学校	屋内運動場	013-2	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
130	3624	巢南中学校	校舎	015	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	A	A	A	93
131	3624	巢南中学校	校舎	016	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	A	A	A	93

A : 概ね良好 C : 広範囲に劣化
B : 部分的に劣化 D : 早急に対応する必要がある

【劣化状況評価における評価基準の考え方】

劣化状況評価について、文部科学省の「解説書」では、A～D 評価の評価基準に関して、下記のように定めています。本計画では、基本的に、下記の評価基準に基づき評価を行うものとなりますが、内部仕上、電気設備、機械設備に関しては、現地での目視調査にて劣化等が見られた場合には、その結果も踏まえて評価するものとなります。

評価基準

目視による評価【屋上、外壁】

評価	基準
良好 A	概ね良好
B	部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)
C	広範囲に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し)
劣化 D	早急に対応する必要がある (安全上、機能上、問題あり) (躯体の耐久性に影響を与えている) (設備が故障し施設運営に支障を与えている)等

**経過年数による評価
【内部仕上、電気設備、
機械設備】**

評価	基準
良好 A	20年未満
B	20～40年
C	40年以上
劣化 D	経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合

【健全度の考え方】

◆健全度の算定

健全度とは、各建物の5つの部位について劣化状況を4段階で評価し、100点満点で数値化した評価指標です。①部位の評価点と②部位のコスト配分を下表のように定め、③健全度を100点満点で算定します。なお、②部位のコスト配分は、文部科学省の「長寿命化改良事業」の校舎の改修比率算定表を参考に、同算定表における「長寿命化」の7%分を、屋根・屋上、外壁に按分して設定しています。

①部位の評価点

	評価点
A	100
B	75
C	40
D	10

②部位のコスト配分

部位	コスト配分
1 屋根・屋上	5.1
2 外壁	17.2
3 内部仕上げ	22.4
4 電気設備	8.0
5 機械設備	7.3
計	60

③健全度

$$\text{総和(部位の評価点} \times \text{部位のコスト配分)} \div 60$$

※100点満点にするためにコスト配分の合計値で割っている。
※健全度は、数値が小さいほど劣化が進んでいることを示す。

(右図「劣化状況調査票」記入例における健全度計算例)

	評価	評価点	配分	
1 屋根・屋上	C	40	5.1	= 204
2 外壁	D	10	17.2	= 172
3 内部仕上げ	B	75	22.4	= 1,680
4 電気設備	A	100	8.0	= 800
5 機械設備	C	40	7.3	= 292
計 3,148				
÷ 60				
健全度				52

(出典：学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書(平成29年3月))

(2) 鉄筋コンクリート造建物の中性化深さの調査結果

劣化状況評価対象施設の 84 棟のうち、鉄筋コンクリート造建物の 67 棟を対象に、中性化深さの進行度調査を行いました。一部の施設を対象とした中性化深さの現地調査及び過去の耐震診断での中性化深さ調査結果をもとに、2021 年度における中性化深さの進行状況を算出しました。

表 3.15 鉄筋コンクリート造建物の中性化深さの調査結果(1/2)

通し番号	施設名	建物名	棟番号	構造	建築年度 (西暦)	調査年 ※1.2	中性化深さ [mm]※3	中性化深さ 理論値 [mm]	最小かぶり 厚さ[mm]
2	ほづみ幼稚園	校舎	2-1	R	1968	2020	6.9	2.1	30.0
3	ほづみ幼稚園	校舎	2-2	R	1981	(2020)	1.0	1.9	30.0
4	ほづみ幼稚園	校舎	3	R	1968	2020	13.6	2.1	30.0
5	ほづみ幼稚園	校舎	4	R	1968	(2020)	13.6	2.1	30.0
6	ほづみ幼稚園	校舎	5	R	1968	(2020)	13.6	2.1	30.0
7	ほづみ幼稚園	校舎	6	R	1968	(2020)	13.6	2.1	30.0
8	ほづみ幼稚園	校舎	7	R	1973	(2005)	0.0	1.7	40.0
15	穂積小学校	校舎	1	R	1968	2005	3.7	1.8	40.0
16	穂積小学校	校舎	2	R	1973	(2005)	0.0	1.7	40.0
17	穂積小学校	校舎	3	R	1973	(2005)	0.0	1.7	40.0
18	穂積小学校	校舎	4	R	1975	(2005)	28.2	1.6	30.0
19	穂積小学校	校舎	5	R	1975	(2005)	28.2	1.6	30.0
20	穂積小学校	校舎	11	R	1973	2005	0.0	1.7	40.0
22	穂積小学校	校舎	13	R	1975	2005	28.2	1.6	30.0
23	穂積小学校	校舎	14	R	1998	(2020)	1.4	1.0	30.0
25	穂積小学校	校舎	17	R	1976	2005	21.6	1.6	30.0
29	穂積小学校	屋内	26-1	R	1999	(2020)	1.4	1.0	30.0
30	穂積小学校	屋内	26-2	R	1999	(2020)	1.4	1.0	30.0
31	本田小学校	校舎	1	R	1970	2020	1.5	2.1	30.0
32	本田小学校	校舎	2	R	1970	2020	4.6	2.1	30.0
37	本田小学校	屋内	11	R	1986	(2020)	33.4	1.7	30.0
38	本田小学校	屋内	11	R	1986	2020	33.4	1.7	30.0
41	本田小学校	校舎	14	R	2005	(2020)	13.4	1.0	40.0
42	牛牧小学校	校舎	1	R	1969	2020	3.4	2.1	30.0
49	牛牧小学校	校舎	20	R	1980	2020	1.0	1.9	30.0
51	牛牧小学校	屋内	22	R	1989	(2020)	33.4	1.7	30.0
52	牛牧小学校	屋内	22	R	1989	(2020)	33.4	1.7	30.0
53	牛牧小学校	校舎	23	R	2016	(2020)	0.6	1.0	30.0
55	南小学校	校舎	1	R	1979	2004	11.8	1.5	40.0
57	南小学校	校舎	8-1	R	1974	2004	1.1	1.6	40.0
58	南小学校	校舎	8-2	R	1975	2004	4.8	1.6	40.0
59	南小学校	校舎	8-3	R	1996	(2020)	1.5	1.0	30.0
60	南小学校	屋内	11-1	R	1981	2004	6.0	1.4	40.0
62	南小学校	校舎	12-1	R	1984	2020	1.4	1.8	30.0
63	南小学校	校舎	12-2	R	2008	(2020)	13.4	1.0	40.0
64	南小学校	校舎	12-3	R	2008	(2020)	13.4	1.0	40.0
65	南小学校	校舎	12-4	R	2008	(2020)	13.4	1.0	40.0
67	南小学校	校舎	14	R	2008	(2020)	13.4	1.0	40.0
68	南小学校	校舎	15	R	2008	2020	13.4	1.0	40.0
70	中小学校	校舎	1-1	R	1978	2004	0.0	1.5	40.0
71	中小学校	校舎	1-2	R	1978	2004	0.0	1.5	40.0
72	中小学校	校舎	1-3	R	1978	2004	0.0	1.5	40.0
75	中小学校	屋内	12	R	1985	2020	22.7	1.8	30.0
78	西小学校	校舎	1-1	R	1978	2004	14.4	1.5	40.0
81	西小学校	校舎	17	R	1980	2004	0.7	1.5	40.0
84	西小学校	屋内	20	R	1983	2020	26.9	1.8	30.0

表 3.15 鉄筋コンクリート造建物の中性化深さの調査結果 (2/2)

通し 番号	施設名	建物名	棟 番号	構 造	建築年度 (西暦)	調査年 ※1	中性化深さ [mm]※2	中性化深さ 理論値 [mm]	最小かぶり 厚さ[mm]
85	生津小学校	校舎	1	R	1979	2020	1.5	1.9	30.0
86	生津小学校	屋内	2	R	1980	2020	1.5	1.9	30.0
91	生津小学校	校舎	12	R	1996	(2020)	1.5	1.0	30.0
92	穂積中学校	校舎	8	R	1972	2020	2.1	2.1	30.0
93	穂積中学校	校舎	11	R	1972	2020	14.4	2.1	30.0
99	穂積中学校	屋内	20-1	R	1988	2020	5.6	1.7	30.0
100	穂積中学校	屋内	20-2	R	1988	(2020)	5.6	1.7	30.0
101	穂積中学校	部	20-3	R	1988	(2020)	5.6	1.7	30.0
102	穂積中学校	連	20-9	R	1988	(2020)	5.6	1.7	30.0
103	穂積中学校	校舎	21	R	2010	(2020)	13.4	1.0	40.0
105	穂積北中学校	校舎	23	R	2010	(2020)	13.4	1.0	40.0
109	穂積北中学校	校舎	1	R	1984	2020	0.4	1.8	30.0
110	穂積北中学校	校舎	2	R	1984	(2020)	15.9	1.8	30.0
111	穂積北中学校	校舎	3	R	1984	2020	15.9	1.8	30.0
112	穂積北中学校	屋内	4-1	R	1984	2020	9.7	1.8	30.0
113	穂積北中学校	連	4-2	R	1984	(2020)	9.7	1.8	30.0
117	巢南中学校	校舎	1-1	R	1970	2004	2.0	1.7	40.0
118	巢南中学校	校舎	1-2	R	1988	2004	3.6	1.2	40.0
119	巢南中学校	校舎	2-1	R	1982	2004	1.2	1.4	40.0
120	巢南中学校	校舎	2-2	R	1996	(2020)	1.5	1.0	30.0
127	巢南中学校	屋内	13-1	R	1992	(2020)	5.6	1.7	30.0

- ※1 括弧内の年度で調査を行った類似施設の結果を用いて算出又は中性化深さ調査対象以外の施設で、前後5年以内に建築された施設の調査結果がない場合は、中性化深さの値に屋内想定理論値を使用。
- ※2 調査が同一施設の屋内外で行われている場合は、中性化が進行している方の値（屋内または屋外で複数個所の調査が行われている場合はその平均値）を使用。

(3) 今後の維持・更新コスト

老朽化が進む施設を、今後も維持・更新していくためには、効率的かつ効果的な整備及び長寿命化を行う必要があります。

ここでは、学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書に基づき、附属エクセルソフトを活用して今後40年間の維持・更新にかかる費用について、①従来型（事後保全型）と②長寿命化型（予防保全型）の2パターンを算出しました。結果を以下に示します。

① 従来型（事後保全型）

従来型の事後保全的な修繕や改修を今後も続けた場合における今後の維持・更新コストは、今後40年間の更新費用総額は約310億円となります。1年あたりにすると約7.7億円/年となり、過去の施設関連経費約4.9億円/年と比較すると、約1.6倍となります。

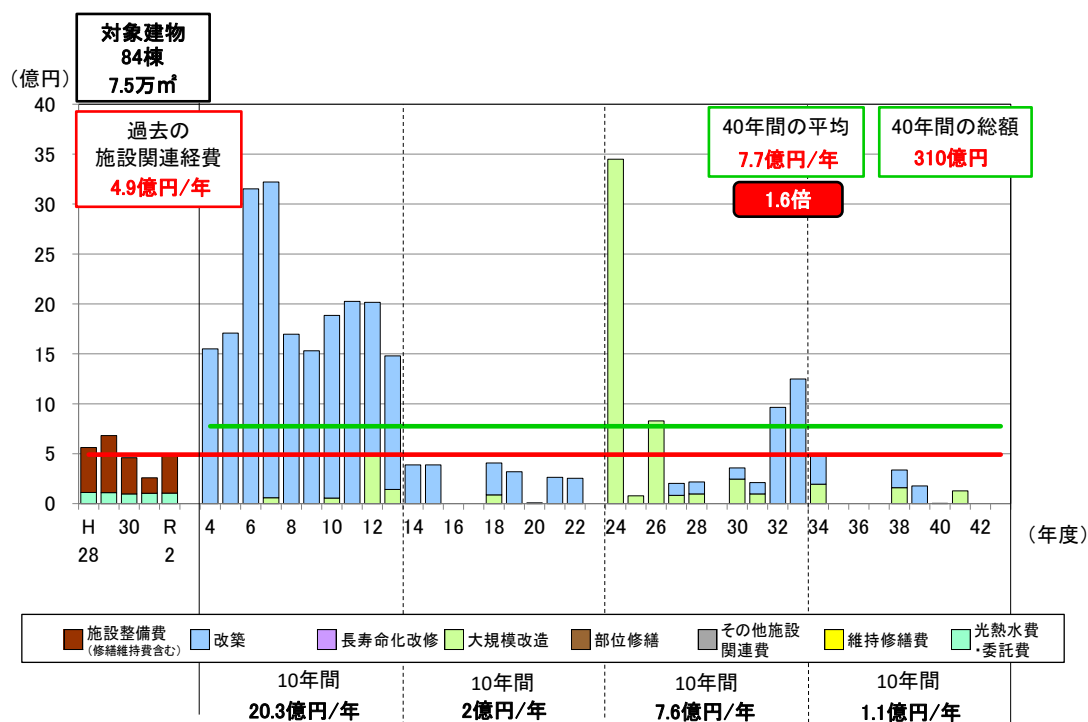


図 3.11 今後の維持・更新コスト（従来型）

※2021年は計画策定年度で値未確定のため空欄としています。

■コスト試算条件（事後保全型）

・基準年度：2021年 ・試算期間：基準年度の翌年度から40年間	
【改築】 ・単価：330,000円/㎡ ・更新周期：40年 ・工事期間：2年 ※築40年以上の建物は10年以内に改築を実施する	【大規模改造】 ・単価：82,500円/㎡（改築の25%） ・実施年数：20年周期 ・工事期間：1年

② 長寿命化型（予防保全型）

長寿命化型（予防保全型）の修繕や改修を行った場合における今後の維持・更新コストは、今後40年間の更新費用総額は約241億円となります。1年あたりにすると約6.0億円/年となります。なお、過去の施設関連経費約4.9億円/年と比較すると、約1.2倍となります。

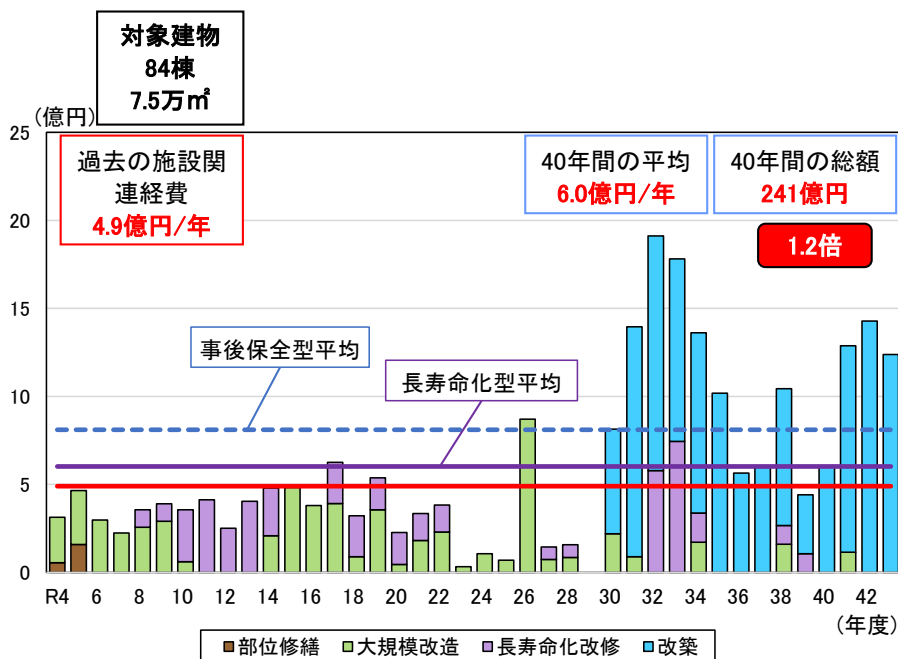


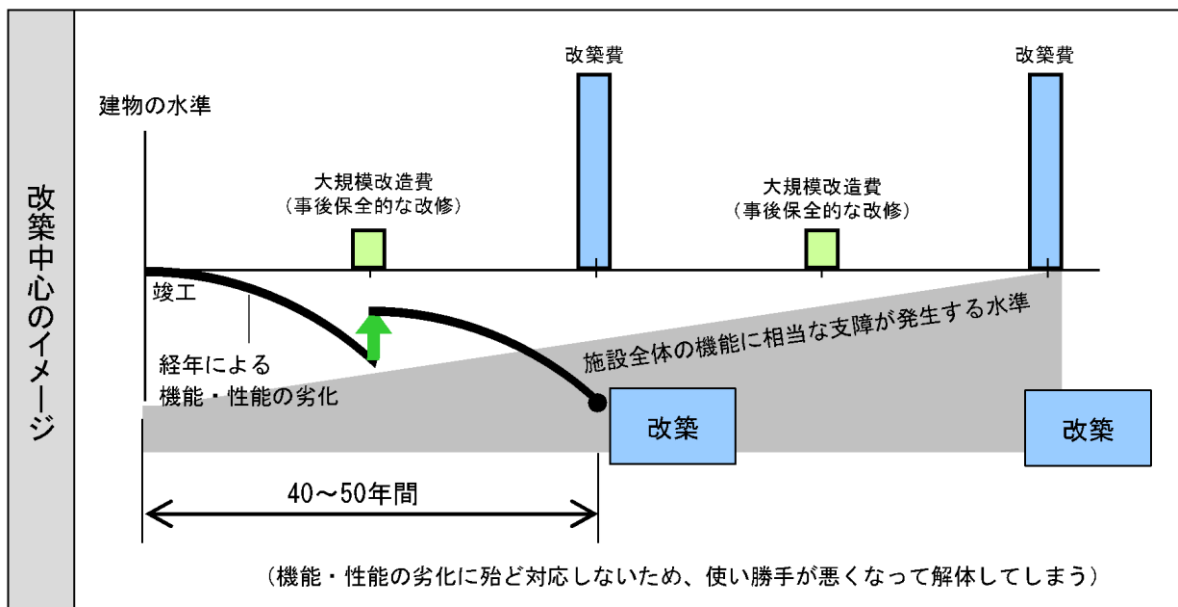
図 3.12 今後の維持・更新コスト（長寿命化型）

■コスト試算条件（長寿命化型）

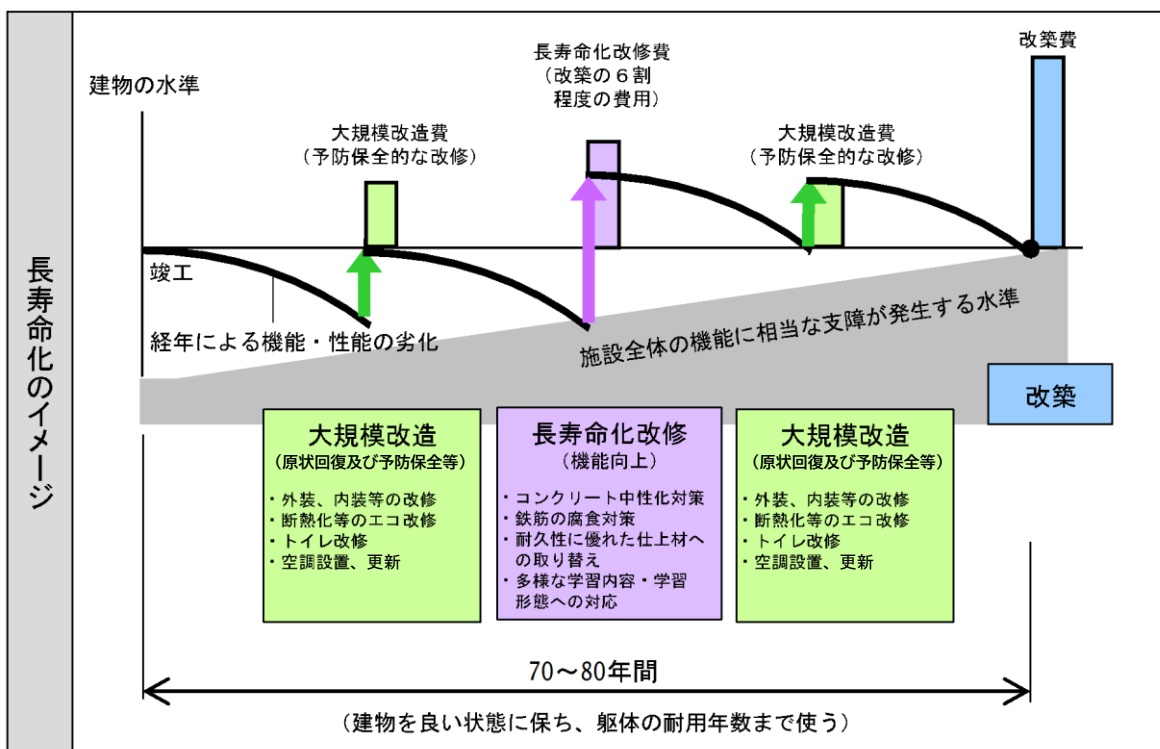
・基準年度：2021年 ・試算期間：基準年度の翌年度から40年間	
【改築】 ・単価：330,000円/㎡ ・更新周期：80年 ・工事期間：2年 ※築80年以上の建物は10年以内に改築を実施する	【長寿命化改修】 ・単価：198,000円/㎡（改築の60%） ・改修周期：40年 ・工事期間：2年 ※築40年以上の建物は築60年目に耐力度調査を行い、十分に耐力が維持されている建物を対象に大規模改造を実施する
【大規模改造】 ・単価：82,500円/㎡（改築の25%） ・実施年数：20年周期 ※ただし、改築、長寿命化改修の前後10年間に重なる場合は実施しない	【部位修繕】 ・D評価：今後5年以内に部位修繕を実施 ・C評価：今後10年以内に部位修繕を実施 ※ただし、改築、長寿命化改修、大規模改造を今後10年間に実施する場合を除く ・A評価：今後10年以内の長寿命化改修から部位修繕相当額を差し引く

(参考)

【改築(建替え) 中心のイメージ】



【長寿命化改修中心のイメージ】



(出典：学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書)

(4) 学校施設等を取り巻く課題

① 人口減少

本市の将来人口ビジョンにおいては、近年では人口増加傾向にありますが、2035年頃をピークに減少傾向にあることが分かります。将来的に人口減少が予測される中で、各校区の児童数・学級数も同様に減少傾向にあります。中でも中小学校及び西小学校では、学級数が1学級のみで構成されている学年があります。その他の校区においても、2学級の学年も多々存在し、児童数の減少から将来的に1学級となる校区が増加していくことが想定されます。

② 学校施設等の老朽化

また、本市における学校施設等の74,000 m²の延床面積の約79%は築30年を超えており、この内の約50%は既に鉄筋コンクリート造の学校施設の法定耐用年数である47年を超えています。目視調査では著しい劣化は特にありませんでしたが、年次相応の劣化が部分的に見受けられました。文部科学省の「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」によると物理的な耐用年数は70～80年程度とされていますが、この間には適切な周期での大規模改造や長寿命化改修を行うことが望ましいとされています。

今後、施設の維持・更新をしていくためには、耐用年数を既に超過している施設が多いため断続的な長寿命化改修や大規模改造が必要となります。

③ 今後の課題

施設の老朽化の面では、全ての対象施設において長寿命化改修等が断続的に必要となります。しかしながら、「瑞穂市公共施設等総合管理計画」における基本理念にある『質と量の最適化』を踏まえると、学級数の減少という状況から全ての対象施設の長寿命化だけではなく、一部の学校施設の減築等についても検討していく必要があると考えられます。

第4章 学校施設等整備の基本的な方針等

1. 学校施設等の規模・配置計画等の方針

(1) 公共施設等総合管理計画の基本方針

学校施設等の基本方針を定めるうえで、上位計画となる管理計画における本市の公共施設等の管理に関する基本的な方針を以下に整理します。

公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本理念

基本理念1 質と量の最適化

供給（最適な施設量）・品質（安全・安心・快適性の確保）・財務（長期にわたり経済的なコスト）3つの視点から、質と量の最適化に取り組むことで、良質なサービス提供を目指します。

基本理念2 公共施設マネジメントの推進

公共施設等の全体像を把握し、全ての市民が安全・安心に暮らせるまちづくりの観点から、公共施設等の総合的なマネジメントに取り組みます。

基本理念3 市民と問題意識の共有化

公共施設等は大切な資産と捉え、市民と問題意識を共有するとともに、協働して、公共施設等の将来の方向性の確立に向けて取り組みます。

(2) 学校施設等の長寿命化計画の基本方針

以上を踏まえ、学校施設長寿命化計画の基本方針は以下とします。

① 公共施設としての基本方針

予防保全・長寿命化の推進

本計画の劣化状況評価において「早急に対応する必要がある」と評価される部位をもつ建物は、これまで適切な改修等が行われなかった建物だと考えられます。本計画の長寿命化実施計画においては、そのような建物の長寿命化改修等を優先的に実施するとともに、今後の維持管理手法を従前の「事後保全」から原則、長寿命化計画にもとづく「予防保全」にシフトし、学校施設等の安全性を高めるとともに、更新等にかかる費用の削減と学校施設等の長寿命化を目指します。

避難所利用における整備

避難所として有効に機能できる施設として検討を進めます。なお、避難所に指定された学校施設等が減築により規模縮小する場合には、関係各課と連携し、災害時の市民の安全を確保するよう協議します。

② 学校教育施設としての基本方針

生活環境の向上

生活環境の向上に関する改善を行う際には、環境負荷や維持管理コストの低減を図るため、照明機器のLED化など省エネルギー機器への更新などに関する検討もあわせて行います。

(3) 学校の適正規模に関する方針

学校規模の標準は、学級数により認定されており小中学校ともに「12 学級以上 18 学級以下」が標準とされています。児童・生徒数の将来推計結果を踏まえると、学校施設の適正規模・適正配置の検討は必要になると考えられます。今後の児童・生徒数の増減や分布の推移を注視し、適宜、適正な管理床面積による減築等を検討することが必要となりますが、改築等の更新にあたっては学校としての役割のほか、災害時の避難の場、地域と共に子どもたちを育てる場としての役割にも配慮しながら、機能等も検討を行っていくこととします。さらに、近年、特別支援学級への対応の必要性が高まっているなど、今後「教室が不足する可能性」がある状況を踏まえ、当面は現状維持を図るものとします。

① 学校施設等の減築の検討

学校施設等の長寿命化または建替え（更新）を行う際に、併せて減築することを検討します。

② 他の公共施設との複合化の検討

将来の児童生徒数の推移を踏まえ、市の計画や方針に基づき、他の公共施設との複合化が必要となる場合には、学校施設等の敷地や建物を活かし、学校施設等と親和性の高い他の公共施設との複合化について検討します。

2. 改修等の基本的な方針

(1) 長寿命化の方針

従来の事後保全型の施設管理では、劣化や故障などの不具合が表面化してから改修を実施していたため、建物の劣化を抑制できず、建物本来の性能を発揮できない状態にありました。しかし、予防保全型の施設管理を行うことで、建物の劣化や故障を未然に防ぎ、建物本来の性能を発揮できる状態になります。長寿命化の検討にあたり建築物を管理するため事後保全型管理又は予防保全型管理の最適な方法を選択し、全体的な施設整備費の縮減に努めることとします。

(2) 目標使用年数、改修周期の設定

① 目標使用年数の設定

鉄筋コンクリート造の法定耐用年数は47年ですが、これは減価償却費を算定するためのものであり、財団法人日本建築学会（昭和63年）「建物の耐久計画に関する考え方」では建物全体の望ましい耐用年数として、鉄筋コンクリート造の学校の場合、通常の品質で50～80年、高品質の場合は80～120年とされており、物理的な耐用年数はこれより長く、適切な維持管理がなされ、コンクリート強度の確保および中性化の進行が抑制されている場合には約80年程度、さらに技術的には100年以上の長寿命化も可能であるとされています。

本計画では、学校施設等の主要施設である校舎等の鉄筋コンクリート造建物の耐用年数を60年と考え、長寿命化による目標耐用年数を80年と設定します。なお、鉄骨造等その他の構造による小さな面積の附属建物の耐用年数と目標耐用年数については後述する改修周期にあわせて、計画的に改修及び更新を行うことのできる目標耐用年数を設定するものとします。

表 4.1 学校施設等の鉄筋コンクリート造による目標耐用年数

耐用年数	60年
目標耐用年数	80年

② 改修周期の設定

各部位の標準耐用年数を基本として、竣工後 20 年で機能回復のための大規模改造を行い、目標耐用年数の中間期となる 40 年で機能向上のための長寿命化改修を行います。その後、20 年で再び大規模改造などを行い、目標耐用年数の 80 年で建物の建替えを行うものとします。学校施設等の建物の更新は建物の規模が比較的大きいことから、年度ごとの本市の財政負担が大きくなるため、建物の更新等を行う際には同じ施設類型内だけでなく、他の施設類型の建物の更新等の事業についてもあわせて考慮し、本市全体としての財政負担の平準化を考慮しながら、計画的に事業を実施するものとします。

表 4.2 改修周期の考え方

築年数	区分	考え方
0 年	新築	建物の新設
20 年	大規模改造	原状回復・予防保全
40 年	長寿命化改修	機能向上
60 年	大規模改造	原状回復・予防保全
80 年	改築	建物の建替え

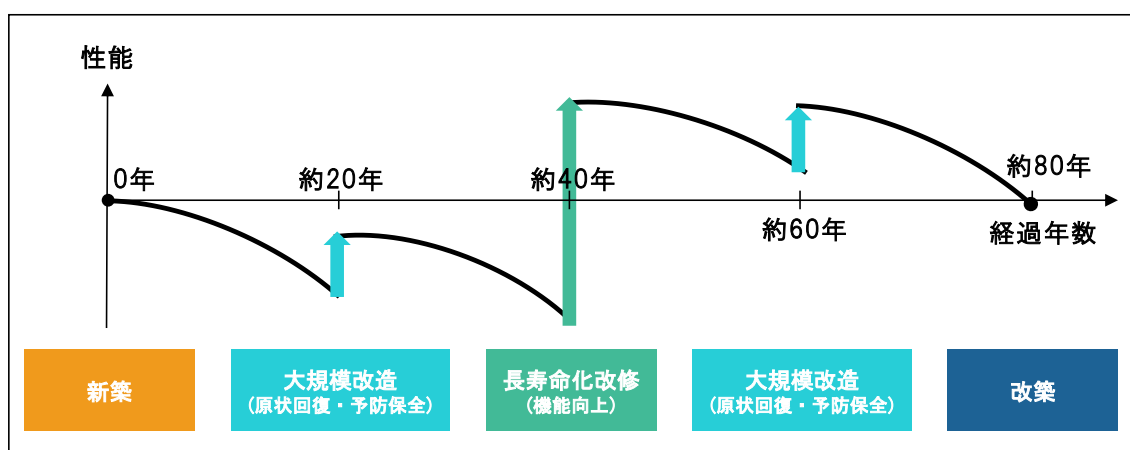


図 4.1 改修周期のイメージ図

第5章 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

1. 改修等の整備水準

対象施設の実態や方針を踏まえ、学校施設等に関する統一の方針として今後の長寿命化改修等の方針及び整備水準例を以下のように設定します。なお、実際の対象施設の更新や改修の際には、本計画において設定した方針及び整備水準例をもとに具体的な検討を行います。

長寿命化改修等の方針	
機能性	将来の機能向上や用途変更等への対応力・柔軟性等
耐久性	耐候性、ライフサイクルコストへの配慮等
メンテナンス性	点検・維持管理・改修更新等の容易性等
環境への配慮	環境負荷低減・省エネルギー等
安全性	主な建物の改修周期に合わせた附属建物及び工作物の適切な修繕・更新等

長寿命化改修等における整備水準例	
外壁改修	仕上改修（耐候性を持つ塗装等）、クラック補修等
内装改修	建具改修等、床、壁、天井改修
屋上屋根改修	防水改修等
非構造部材の耐震化	
受変電、照明設備等の更新（LED 照明等）	
空調設備の更新	
給排水設備の更新	

また、前述の整備水準のほかに、対象施設の更新や改修の際には、今後一層幅広くなると考えられる学校施設等に対する社会的要請に対してもあわせて検討していきます。

その他個別に検討が必要な事項
多様な学習内容・形態及びコミュニティ活動に必要なスペースの確保
ユニバーサルデザインをとりいれた設備等
体育館の空調設備整備
太陽光発電設備の設置等

2. 維持管理の項目・手法等

(1) 現状

本業務での劣化状況調査で様々な劣化が確認されているように、これまでは十分な点検及び補修等が行われていない状況にあるといえます。これは、教育委員会には建築の専門家が十分に配属されることがないこと、そして予算上の問題等から補修等の対応がされなかったことという、事後保全型の施設管理の課題であるといえます。

(2) 点検手法

学校の施設・設備については、建物の劣化・損傷の状況や防火壁が撤去されていないかなどの基準への適合性、非常警報・屋内消火栓等の消防設備の動作状況など、様々な事項について関係法令等により定期点検等の実施義務が生じています。学校施設等を長期的に活用するためには適切な維持管理は必要不可欠であることから建築基準法第12条の法定点検に準ずる点検を定期的を実施し今後の学校施設等の長寿命化計画に反映していきます。

第6章 長寿命化の実施計画

1. 改修等の優先順位付けと実施計画

(1) 改修等の優先順位付け

これまでの内容を踏まえ、改修等の優先順位付けを以下のように設定します。

ただし、ここで設定した優先順位を問わず、今後の検討事項に応じて実施を判断することとします。

表 6.1 改修等の優先順位

区分	優先順位
改築	・ 築 80 年を経過した施設から順次実施
大規模改造	① 新築後または長寿命化改修の後、20 年を経過した施設から順次実施 ② 築 40 年を超過している施設は施設の劣化状況及び躯体調査を行ったうえで優先順位を検討し必要に応じて改修工事を実施
長寿命化改修	① 今後築 40 年を迎える施設は、築 40 年経過後に適宜躯体調査を実施しながら、その結果を踏まえて優先順位を検討し改修工事を実施
部位修繕	① 劣化状況評価が D 評価の施設のうち、今後 10 年以内の長寿命化改修に該当しない施設を最優先に実施 ② 劣化状況評価が C 評価の施設のうち、今後 20 年以内の長寿命化改修に該当しない施設を 2 番目に実施

(2) 実施計画

優先順位付けに基づき、具体的な整備時期を整理すると、以下のようになります。

表 6.2 実施計画 5 年間（単位：百万円）

学校名・施設名		2021	2022	2023	2024	2025	合計
ほづみ幼稚園		0	0	0	0	0	0
穂積小学校	校舎	0	0	306	176	0	482
	屋内運動場	0	0	0	0	0	0
本田小学校	校舎	0	0	0	0	0	0
	屋内運動場	0	0	0	0	0	0
牛牧小学校	校舎	0	0	0	0	0	0
	屋内運動場	0	0	0	0	0	0
南小学校	校舎	0	0	0	0	0	0
	屋内運動場	0	0	0	0	0	0
中小学校	校舎	17	258	0	0	0	275
	屋内運動場	0	0	0	0	0	0
西小学校	校舎	0	0	41	0	0	41
	屋内運動場	0	0	0	0	0	0
生津小学校	校舎	0	55	0	121	121	297
	屋内運動場	0	0	0	0	49	49
穂積中学校	校舎	0	0	117	0	0	117
	屋内運動場	0	0	0	0	0	0
穂積北中学校	校舎	0	0	0	0	0	0
	屋内運動場	0	0	0	0	0	0
巢南中学校	校舎	0	0	0	0	0	0
	屋内運動場	27	0	0	0	0	27
	柔剣道場	0	0	0	0	54	54
計	改築	0	0	0	0	0	0
	長寿命化改修	0	0	0	0	0	0
	大規模改造	44	258	306	297	224	1,129
	部位修繕	0	55	158	0	0	213
合計		44	313	464	297	224	1,342

工事の効率性や学校運営への影響、躯体等詳細な結果を考慮し改修工事実施時期の目安を見直す場合があります。また改修等については今後の予算が確保されたものではありません。

第7章 長寿命化計画の継続的運用方針

1. 情報基盤の整備と活用

本計画を推進するにあたり、学校施設台帳等の基礎的資料に加え、学校施設等の点検・調査結果、修繕履歴、委託料等を把握し、蓄積するなど、本計画の見直しや効果的な運用等を見据え、こうした情報を活用できるように、情報の一元管理等、データベースを構築します。そして、蓄積されたデータについては、学校施設等の点検・調査、改修・更新等を実施した際には適切に更新し、常に活用できる状態を維持するよう努めます。

2. 推進体制等の整備

本計画を推進するにあたり、教育委員会、施設管理者、設計・工事担当部署等、関係部署と一層連携し、修繕内容やスケジュールなど踏まえ計画的に運用していきます。そして、上位計画である瑞穂市公共施設等総合管理計画へ進捗結果をフィードバックし、市全体で効果的な公共施設マネジメントに取り組めるよう、全庁的な体制を構築します。

3. フォローアップ

長寿命化の実施計画を継続的に運用していくことが重要ですが、学校施設等を取り巻く環境（老朽化状況、学習環境、財政等）は今後も年々変化するものであるため、計画の進捗状況と照らし合わせながら、PDCA サイクルに基づく検証を行い、前述の通り原則5年ごとに計画の見直しを行います。あわせて、上位計画である公共施設等総合管理計画が改訂された場合や、他施設分類の公共施設との複合化等が検討及び決定がされた場合にも、必要に応じて見直しを行います。

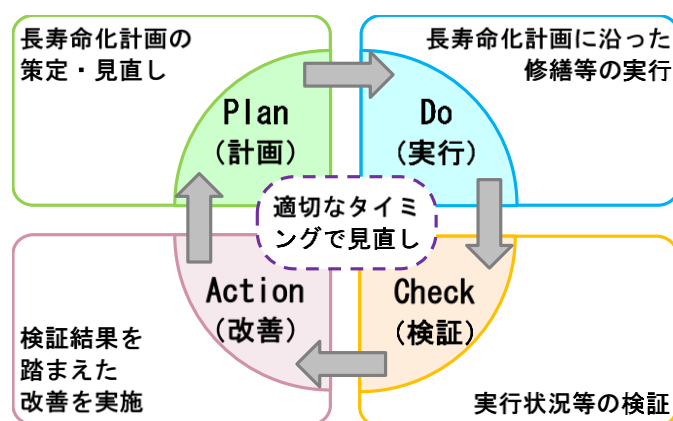


図 7.1 フォローアップ